

石垣北部地区建築工事（その５）

伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

令和 7 年度

公益財団法人 沖縄県農業振興公社

牛舎

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	特記仕様書(その1) [牛舎・堆肥舎共通]	S-01	構造設計標準仕様書	E-01	特記仕様書(電気設備)-1
A-02	特記仕様書(その2) [牛舎・堆肥舎共通]	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-02	特記仕様書(電気設備)-2
A-03	特記仕様書(その3) [牛舎・堆肥舎共通]	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	E-03	特記仕様書(電気設備)-3
A-04	特記仕様書(その4) [牛舎・堆肥舎共通]	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	E-04	配置図・照明器具表
A-05	案内図、配置図	S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(4)	E-05	電気設備平面図
A-06	敷地面積求積図、床面積求積図	S-06	雑配筋標準図(1)		
A-07	牛舎：仕上表、平面図	S-07	雑配筋標準図(2)	M-01	特記仕様書(機械設備)-1
A-08	牛舎：屋根伏図	S-08	雑配筋標準図(3)	M-02	特記仕様書(機械設備)-2
A-09	牛舎：立面図、断面図	S-09	牛舎：柱状図	M-03	特記仕様書(機械設備)-3
A-10	牛舎：平面詳細図	S-10	牛舎：基礎伏図、基礎詳細図	M-04	特記仕様書(機械設備)-4
A-11	牛舎：断面詳細図-1	S-11	牛舎：R階梁伏図、各リスト図	M-05	配置図・雨水槽詳細図
A-12	牛舎：断面詳細図-2	S-12	牛舎：軸組図 (1)	M-06	給排水設備平面図
A-13	牛舎：連動スタンション詳細図	S-13	牛舎：軸組図 (2)		
A-14	牛舎：仕切扉A B詳細図-1	S-14	牛舎：架構詳細図		
A-15	牛舎：仕切扉C詳細図-2				
A-16	牛舎：仕切扉D詳細図-3				
A-17	牛舎：仕切扉E詳細図-4				
A-18	牛舎：牛房柵（水槽）詳細図				
A-19	牛舎：タンク架台-1				
A-20	牛舎：タンク架台-2				
A-21	牛舎：水槽詳細図				

堆肥舎

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	堆肥舎：平面・屋根伏図、仕上表	S-01	構造設計標準仕様書		
A-02	堆肥舎：立面図、断面図	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)		
A-03	堆肥舎：断面詳細図	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)		
		S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)		
		S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(4)		
		S-06	雑配筋標準図(1)		
		S-07	雑配筋標準図(2)		
		S-08	雑配筋標準図(3)		
		S-09	堆肥舎：柱状図		
		S-10	堆肥舎：基礎伏図、基礎詳細図		
		S-11	堆肥舎：R階梁伏図、各リスト図		
		S-12	堆肥舎：軸組図		
		S-13	堆肥舎：架構配筋図		

伊良部正人、大浜雄樹、野底賢二

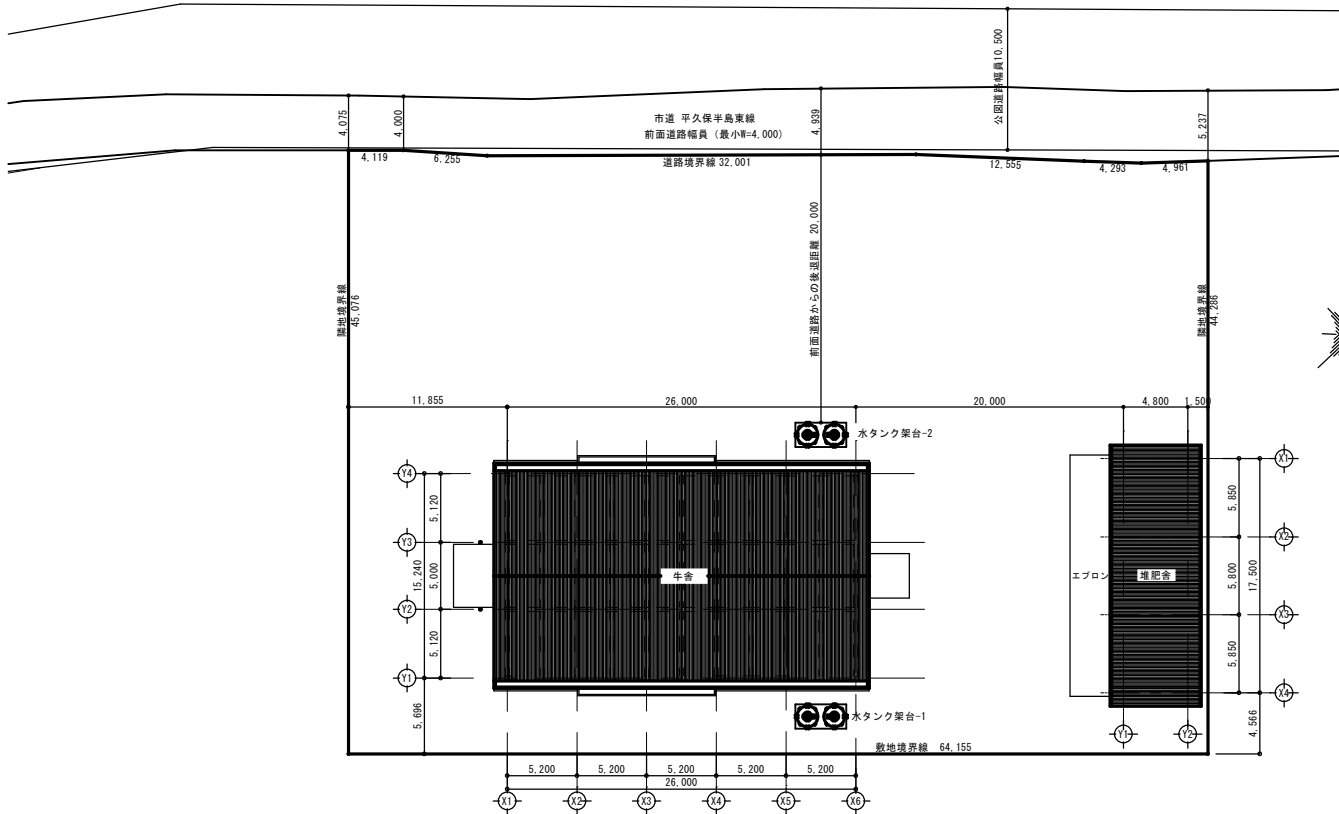
工事名称	石垣北部地区建築工事(その5)	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	図 面 目 録
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:- A3:-
備 要		図面番号	A— 00
		設 名 称	有限会社 朝吹設計事務所
		計 資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
		査 録 番 号	1級建築士 第 114962 号 登録番号 第 133-1792 号
		書 所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32

建築工事特記仕様書〔建築工事編〕沖縄県土木建築部			章 項 目		特 記 事 項		⑪ 施工中の安全確保及び環境保全等(1.3.7)(1.3.10)	(1)「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。
令和4年7月改定版			① 一般共通事項		① 適用基準等			
1 工事概要			(4) 工事監理業務への協力等		② 建築工事監理指針(令和元年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		⑬ 発生材の処理等(1.3.11)	
(1) 工 事 名 : 石垣北部地区建築工事(その5)			イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。		③ 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部			
(2) 工 場 所 : 沖縄県石垣市伊原間カンニン250-7			ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。		④ 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部			
(3) 敷 地 面 積 : 2863.53㎡			エ 建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。		⑤ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和4年版)・(一社)公共建設協会			
(4) 工 事 種 目 : 新築			(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事に関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて		⑥ 営繕工事写真撮影要領(令和3年版)			
ア 建築物			本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事に関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。		⑦ 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部			
建築物の名称			牛舎		増肥舎			
主要用途			牛舎		増肥舎			
構造及び階数			RC造平屋建		RC造平屋建			
工事種別			新築		新築			
建築面積			396.24㎡		84.00㎡			
延べ面積			396.24㎡		84.00㎡			
イ 工作物及び立木								
工作物等の名称								
数量								
2 本工事の設計時期			本工事の設計書は、令和 7 年 7 月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。		登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。 工事の一時中止に係る計画の作成 (1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。 ・ 本工事は、余裕期間を設定して実施する工事である。 本工事は余裕期間として【 日】間を設定した工事である。 なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮していない。 (3) CORINS登録については、実工期期間にて技術者の従事期間の登録を行うこと。 (4) 余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は不要とする。 (5) 受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものである。 (6) 受注者は、着手関係書類(工程表、請負代金内訳書を除く)については、実工期の始期に提出するものとする。 (7) 受注者は、着手関係書類(工程表、請負代金内訳書を除く)については、実工期の始期に提出するものとする。 (8) 受注者は、契約書第35条第1項の規定にかかわらず、実工期の始期以降でなければ、発注者に対して前払金の支払いを請求することはできない。 図示された範囲は(令和 年 月 日)までに完了すること。			
3 建築工事仕様			(9) ダンプトラック等の過積載等の防止について		⑧ 構造計画・施工計画・建築設備計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部			
(1) 標準仕様			ア 工事用資材材料等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。		⑨ 工事実績情報の登録(1.1.4)			
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」(令和4年版)〔以下「標準仕様書」という。〕による。			イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。		⑩ 契約書の一時中止に関する事項(1.1.9)			
(2) 特記仕様			ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようとする。		工事の一時中止に係る計画の作成 (1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。 ・ 本工事は、余裕期間を設定して実施する工事である。 本工事は余裕期間として【 日】間を設定した工事である。 なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮していない。 (3) CORINS登録については、実工期期間にて技術者の従事期間の登録を行うこと。 (4) 余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は不要とする。 (5) 受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものである。 (6) 受注者は、着手関係書類(工程表、請負代金内訳書を除く)については、実工期の始期に提出するものとする。 (7) 受注者は、着手関係書類(工程表、請負代金内訳書を除く)については、実工期の始期に提出するものとする。 (8) 受注者は、契約書第35条第1項の規定にかかわらず、実工期の始期以降でなければ、発注者に対して前払金の支払いを請求することはできない。 図示された範囲は(令和 年 月 日)までに完了すること。			
ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。			エ 土砂等の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に入りしことがないようとする。		⑪ 発生材の種類			
イ 特記事項は、「」に○印の付いたものを適用する。			オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		発生材の種類			
ウ 項目及び特記事項に記載の() 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。			カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に關し入担ダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。		特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法 現場において再利用を図るもの			
エ 特記事項に記載の(参) は、標準仕様書の参考資料4各部配筋参考図の当該項目を示す。			キ アから力の事につき、下請契約における受注者を指導すること。		(2) 本工事に発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。 (3) 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。 また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。			
4 その他			(10) 不正給油の使用の禁止等について		(4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆいける材の認定を受けた施設又はゆいける材の認定を受けていない施設が、再資源化後にゆいける材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。			
(1) 公共事業労務費調査に対する協力			ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等)の搬出入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正給油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。		(5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件のうちから運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。			
ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。			イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用料の取組調査に協力しなければならない。		(6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について			
イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。			ウ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、廃棄物という。))については、廃棄物吸引機を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。 「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する施設、適正処理のために必要な廃棄物処理(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、工事で発生した特別な混入物が無ければ、下記HPIに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。 http://www.pref.okinawa.jp/gj/site/kankyô/seibi/sangyo/as_ufuruta.html			
ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調整・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。			エ 受注者は、県の税務当局が実施する使用料の取組調査に協力しなければならない。		なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)については、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。 イ 発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について(通知)〔平成24年3月28日付土技第1257号)〕に基づき、適正に処理すること。 ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する粉体の取扱基準について(通知)〔平成25年1月17日付土技第942号)〕に基づき、適正に処理すること。			
エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請員を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。			(11) 設計図書における資材等の取扱いについて		⑦ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策			ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。		⑧ 電気保安技術者(1.3.3)			
受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次に關する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。			イ 本工事では、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等)の搬出入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正給油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。		⑨ 電気工物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。			
ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。			ウ 「参考図」は建設工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。		⑩ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと			ク 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		⑪ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。			カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に關し入担ダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。		⑫ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
3 ワンデーレスポンスの実施			キ アから力の事については、下請契約における受注者を指導すること。		⑬ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ア この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。			ク 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		⑭ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
「ワンデーレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでも回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。			キ アから力の事については、下請契約における受注者を指導すること。		⑮ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。			ク 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		⑯ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画の工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。			ク 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		⑰ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。			ク 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		⑱ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
(4) 工事監理業務への協力等			ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。		⑲ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。			イ 受注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建設業法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(国土交通省HP)】https://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)(国土交通省HP)】https://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf【各団体が作成した標準見積書(国土交通省HP)】ホーム>政策・仕事>土地・建設産業>建設業(不動産業)>各団体が作成した標準見積書https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000082.html		⑳ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
イ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。			ウ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉑ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ウ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			エ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉒ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
エ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			オ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉓ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
オ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			カ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉔ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
カ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			キ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉕ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
キ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ク 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉖ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ク 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ケ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉗ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ケ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			コ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉘ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
コ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			サ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉙ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
サ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			シ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉚ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
シ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ス 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉛ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ス 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			セ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉜ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
セ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ソ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉝ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ソ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			タ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉞ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
タ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			チ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㉟ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
チ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			リ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊱ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
リ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ニ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊲ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ニ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ハ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊳ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ハ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ヘ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊴ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ヘ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ニ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊵ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ニ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ホ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊶ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ホ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ヘ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊷ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ヘ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ト 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊸ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ト 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			チ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊹ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
チ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			リ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊺ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
リ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ニ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊻ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ニ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ハ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊼ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ハ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ヘ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊽ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ヘ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ニ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊾ 設計計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。			
ニ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。			ホ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を経え、同団体等の加入者の使用を促進すること。		㊿			

①一般共通事項へ続き	⑬主任技術者・監理技術者	(1) 工事請負代金額が3,500万円以上(建築一式工事の場合7,000万円以上)の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。 ア 現場施工に着手するまでの期間 【現場施工に着手する日の確定している場合】 請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。 【現場施工に着手する日が確定していない場合】 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。 イ 検査終了後の期間 工事完成后、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている契約工期中の期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 (2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より前に3か月以上の雇用関係が成立していなければならない。 イ 受注者は、着手前と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類(健康保険被保険者証等の写し)を提出しなければならない。	⑭技能士(1.5.2)	<table><tr><th>適用工事種別</th><th>技能検定作業</th></tr><tr><td>鉄筋</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	適用工事種別	技能検定作業	鉄筋						⑮化学物質の濃度測定(1.5.9)	(1) 測定時期、測定対象室及び測定箇所数 <table><tr><th>測定対象室</th><th>測定箇所数</th><th>測定時期</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	測定対象室	測定箇所数	測定時期	備考					⑯完成時の提出図書(1.7.1)(1.7.2)	※完成図 ※保全に関する資料 (1) 本工事は完成時の提出図書は、「普通工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領(案)」による。 (2) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等(以下、「要領」)に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督員と協議するものとする。 (3) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか(一財)沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「電子納品確認登録証」の発行を受けること。 業務成果品(工事完成図書)は、電子媒体(CD-R等)で(正)1部提出すること。 (4) 受注者は、完成通知書の添付書類として以下の書類及び電子データを監督員に提出しなければならない。 ア ゆいくる利用状況報告書 イ ゆいくる材出荷量証明書 (5) 受注者は、監督員より「長期保全計画書」の作成の指示があった場合、これを作成し監督員に提出しなければならない。なお、この計画書の内容等は監督員との協議により決定する。	⑰設計図CADデータの貸与	本工事では発注者から受注者に対し設計図CADデータを貸与する。なお、貸与されたCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。	⑱情報共有システム	(1) 現場事務所等に、情報共有システムが使用可能な以下に示す程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等により当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。 【インターネット環境】：ブロードバンド回線 【パソコンOS】：Microsoft Windows 8.1/10 【推奨ブラウザ】：Microsoft Edge 情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有、交換するものである。 (2) 受注者は、沖縄県CALSシステムの利用にあたっては、沖縄県とCALS運営会社で定めた使用承諾料を沖縄県CALSシステムを運営している者に支払うこと。 (3) 沖縄県CALSシステムの使用承諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること。(支払いの事実を証明する書類(銀行振り込みの写し等)を提出)	⑳堅路制止用器具	○ 堅路制止用器具は、フルハネ型とする。ただし、堅路時に着用品が地面に到達するおそれのある場合は、胴ベルト型の使用を認めるものとする。また、堅路制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)を遵守すること。	㉑「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事	・ 本工事は、「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事の対象工事である。 実施については、「沖縄県「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事試行要領(案)」及び「労務費見積り尊重宣言」実施要領」(2018.12.21 日本建設業連合会)等を参照し実施するものとする。	㉒建設キャリアアップシステム(CCUS)活用について	・ 本工事は、建設キャリアアップシステム(以下「CCUS」という。)(の対象工事であり、受注後に「沖縄県 建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事試行要領」によりCCUSを活用するか発注者と協議するものとする。 実施については、「沖縄県 建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事試行要領」及び「建設キャリアアップシステム現場運用マニュアル」(一般財団法人建設業振興基金)等を参照し実施するものとする。	①工事用水	構内既存の施設：【○利用不可 ・利用できる(・有償 ・無償)】	②工事用電力	構内既存の施設：【○利用不可 ・利用できる(・有償 ・無償)】	③環境対策について	(1) 受注者は、本工事の施工にあたり、「沖縄県赤土等流出防止条例」、「水質汚濁防止法」及びその他環境保全に関する法令等を遵守し、その対策については工事着手前に現場状況の調査、検討を十分に行い、監督員の確認を得た上で施工すること。 (2) 赤土等流出防止対策を行う場合、その対策範囲は図示による。	④足場その他(2.2.4)	○ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	5 監督員事務所(2.3.1)	<table><tr><th>規模(m)</th><td></td></tr><tr><td>床</td><td></td></tr><tr><td>仕上げ 内壁・天井</td><td></td></tr><tr><td>内屋</td><td></td></tr><tr><td>備品の種類及び数量</td><td></td></tr></table>	規模(m)		床		仕上げ 内壁・天井		内屋		備品の種類及び数量		①工率及びび盛土(3.2.3)(表3.2.1)	埋戻し及び盛土の種類： 【 ・A種 適用場所() ・B種 適用場所(全体) ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() 】	①載荷試験(4.2.3)(4.2.4)	<table><tr><th>載荷の種類</th><th>試験の位置</th><th>試験の位置</th><th>載荷荷重</th><th>報告書の記載事項</th></tr><tr><td>杭</td><td>・水平試験・図示 ・鉛直試験・</td><td>・図示 ・図示</td><td>・図示 ・図示</td><td>・図示 ・図示</td></tr><tr><td>地盤</td><td>・平面載荷試験・</td><td>・牛舎2カ所 ・堆肥倉1カ所</td><td>・図示 ・図示</td><td>・図示 ・図示</td></tr></table>	載荷の種類	試験の位置	試験の位置	載荷荷重	報告書の記載事項	杭	・水平試験・図示 ・鉛直試験・	・図示 ・図示	・図示 ・図示	・図示 ・図示	地盤	・平面載荷試験・	・牛舎2カ所 ・堆肥倉1カ所	・図示 ・図示	・図示 ・図示	2 杭地業	(1) 杭地業の種類と工法(4.3.1)(4.4.4)(4.5.1) <table><tr><th>杭地業の種類</th><th>工法</th></tr><tr><td>・ 連心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ 鋼杭地業 ・ 場所打ちコンクリート杭地業</td><td>・ セメントミルク工法 ・ 特定埋設杭工法 ・ フレバーリング杭大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ ()工法 ・ アースドリル工法 ・ ()工法</td></tr></table>	杭地業の種類	工法	・ 連心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ 鋼杭地業 ・ 場所打ちコンクリート杭地業	・ セメントミルク工法 ・ 特定埋設杭工法 ・ フレバーリング杭大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ ()工法 ・ アースドリル工法 ・ ()工法	(2) 杭の寸法等(4.2.2)(4.3.3)(4.4.3)(4.5.4) <table><tr><th></th><th>杭径</th><th>杭長(m)</th><th>種類</th><th>継手数</th><th>先端部の形状</th><th>備考</th></tr><tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>位置は図示による</td></tr><tr><td>本杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		杭径	杭長(m)	種類	継手数	先端部の形状	備考	試験杭						位置は図示による	本杭							(3) 杭の品質等(4.3.4)～(4.3.8)(4.4.4)～(4.4.6) 設計支持力 推定支持力の算定方法 水平方向のずれ精度 継手工法 杭頭の処理	(4) 支持層(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6) <table><tr><th>支持層の位置</th><th>支持層の種類</th><th>支持層への掘削深さ</th><th>支持層への掘入れ深さ</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	支持層の位置	支持層の種類	支持層への掘削深さ	支持層への掘入れ深さ					(5) 場所打ちコンクリートにおける材料等(4.5.4) ア 鉄筋 <table><tr><th>帯筋</th><th>鉄筋の最小かぶり厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td>【・(参-22)・図示】</td><td></td><td></td></tr></table> イ セメントの種類 【 ・普通ポルトランドセメント ・図示 】 ウ コンクリート <table><tr><th>設計基準強度</th><th>種類</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	帯筋	鉄筋の最小かぶり厚さ	備考	【・(参-22)・図示】			設計基準強度	種類	備考				③床下防湿層(4.6.5)	防湿層の範囲は、図示による。【堆肥倉】	⑤鉄筋(5.2.1)	<table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び名(mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>構造図による</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類の記号	呼び名(mm)	備考	構造図による						⑥溶接金網(5.2.2)	<table><tr><th>網目の形状</th><th>寸法</th><th>鉄筋の経</th><th>備考</th></tr><tr><td>150</td><td>6</td><td></td><td></td></tr></table>	網目の形状	寸法	鉄筋の経	備考	150	6			③コンクリートの強度	①コンクリートの強度 【 気乾単位容積質量による種類 類別等 設計基準強度(Fo) 施工部位 】 ・ 普通コンクリート ※Ⅰ類 ・ 軽量コンクリート ・Ⅱ類 ・ 普通コンクリート ※Ⅰ類 ・ 軽量コンクリート ・Ⅱ類 ・ 普通コンクリート ※Ⅰ類 ・ 軽量コンクリート ・Ⅱ類 (6.2.1)(6.2.2)(6.2.3)(6.10.1)(6.13.1)(6.14.1)(6.15.1)	②コンクリートの材料	① セメントの種類 【 ※普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・ 】 (2) フライアッシュセメントB種の適用箇所：【 ・図示 ・ 】 (3) 骨材のアルカリシリカ反応性による区分：※A ・B (6.3.1)	③コンクリートの強度試験	材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする。 <table><tr><th>仕上げる種別</th><th>打増し厚さ</th><th>施工部位</th><th>備考</th></tr><tr><td>B種</td><td></td><td>全体</td><td></td></tr></table>	仕上げる種別	打増し厚さ	施工部位	備考	B種		全体		④コンクリート打放し仕上げ(6.2.5)(6.8.1)	工事に使用するコンクリートは事前に試し練りを行い、その品質等が設計図書の規定に適合していることを確認し、監督職員に報告する。	⑤コンクリートの品質管理	打継ぎ目地の寸法は、図示による。 (1) 外部に露する打放し仕上げの打増し厚さ 【 ・20mm (・)mm 】 (2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法は、図示による。 (3) MCR工法の適用：・有り【 使用箇所： ・図示 ・ 】	⑥打継ぎ(6.6.4)		⑦型枠(6.8.1)(6.8.2)		8 軽量コンクリート(6.10.1)(6.10.2)	水又は土に接する軽量コンクリートの使用 ・有り【使用箇所： ・図示 ・ 】	⑨暑中コンクリート	暑中コンクリートの適用は【 石垣市 】の日平均気温の平年値が25℃を超える【 5月4日】から【 10月28日】までとする。 (注) 適用する場合は、気象庁HPより日平均気温の平年値を確認し、【 ・ 】を記載すること。	⑩品質確保	レディーミクストコンクリートの品質確保については、「レディーミクストコンクリートの品質確保について」(平成15年11月10日付国土建第95号)及び「レディーミクストコンクリートの品質確保についての運用について」(平成15年11月10日付国営技第71号)を適用する。	③継手及び定着(5.3.4)	(1) 継手の種類等 <table><tr><th>施工部位</th><th>継手の種類</th><th>備考(重ね継手の長さ等)</th></tr><tr><td>全体</td><td></td><td></td></tr></table>	施工部位	継手の種類	備考(重ね継手の長さ等)	全体			(2) 柱、梁の主筋の継手を同一箇所には、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。	(3) 鉄筋の定着長さ※図示による。 ・ 【 】	(1) 軽量コンクリートの場合の最小かぶり厚さ： (2) 塩害を受けるおそれのある部分等の位置及び最小かぶり厚さ： (3) 機械式継手及び溶接継手の場合のあきの寸法：	<table><tr><th>施工箇所</th><th>配筋の方法</th><th>その他特記すべき事項</th></tr><tr><td>全体</td><td>【 ・(参-)による。 ○図示 】 【 ・(参-)による。 ・図示 】</td><td></td></tr></table>	施工箇所	配筋の方法	その他特記すべき事項	全体	【 ・(参-)による。 ○図示 】 【 ・(参-)による。 ・図示 】		④鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(5.3.5)	⑤各部配筋(5.3.7)	6 機械式継手	機械式継手の種類：・図示 ・	①主任技術者等の資格	(1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。 ○ 1級建築士、又は1級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの ・ 1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、又は2級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの ア 監理技術者については、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。 イ 配置予定技術者については、入札開始日前に3か月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係があること。 ウ 配置予定技術者の専任を要しない期間については、設計図書等で確認すること。 (2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。	16 監理技術者の業務(特例監理技術者の配置)	※ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認める。この場合の要件は、現場説明書による。 ・ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認めない。	⑰工事の保険等	(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。 【○火災保険 ○建設工事保険 ・組立保険 ○請負業者賠償責任保険】 (2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出すること。 (3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。 ア 掛金収納書を契約後原則1ヶ月以内(電子申請方式による場合は契約後原則40日以内)に発注者に提出する。 イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。 ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。 エ 工事完成后、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならない。	⑱ゆいくる材について	(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいくる材に限り、原則「ゆいくる材」とする。それ以外を原材料とするゆいくる材は率先して使用することとする。ただし、ゆいくる材がない龍島等の工事の場合は、ゆいくる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいくる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいくる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。また、ゆいくる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。 (2) ゆいくる材の品質管理 ア ゆいくる材の品質管理にあたっては、「標準仕様書」等のほか「ゆいくる材の品質管理要領」に基づいて行うこと。 イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいくる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいくる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。 ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初回搬入時と敷き詰め後圧入完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。 エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。
	適用工事種別	技能検定作業																																																																																																																																																																																																											
	鉄筋																																																																																																																																																																																																												
	測定対象室	測定箇所数	測定時期	備考																																																																																																																																																																																																									
	規模(m)																																																																																																																																																																																																												
	床																																																																																																																																																																																																												
	仕上げ 内壁・天井																																																																																																																																																																																																												
内屋																																																																																																																																																																																																													
備品の種類及び数量																																																																																																																																																																																																													
載荷の種類	試験の位置	試験の位置	載荷荷重	報告書の記載事項																																																																																																																																																																																																									
杭	・水平試験・図示 ・鉛直試験・	・図示 ・図示	・図示 ・図示	・図示 ・図示																																																																																																																																																																																																									
地盤	・平面載荷試験・	・牛舎2カ所 ・堆肥倉1カ所	・図示 ・図示	・図示 ・図示																																																																																																																																																																																																									
杭地業の種類	工法																																																																																																																																																																																																												
・ 連心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ 鋼杭地業 ・ 場所打ちコンクリート杭地業	・ セメントミルク工法 ・ 特定埋設杭工法 ・ フレバーリング杭大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ ()工法 ・ アースドリル工法 ・ ()工法																																																																																																																																																																																																												
	杭径	杭長(m)	種類	継手数	先端部の形状	備考																																																																																																																																																																																																							
試験杭						位置は図示による																																																																																																																																																																																																							
本杭																																																																																																																																																																																																													
支持層の位置	支持層の種類	支持層への掘削深さ	支持層への掘入れ深さ																																																																																																																																																																																																										
帯筋	鉄筋の最小かぶり厚さ	備考																																																																																																																																																																																																											
【・(参-22)・図示】																																																																																																																																																																																																													
設計基準強度	種類	備考																																																																																																																																																																																																											
種類の記号	呼び名(mm)	備考																																																																																																																																																																																																											
構造図による																																																																																																																																																																																																													
網目の形状	寸法	鉄筋の経	備考																																																																																																																																																																																																										
150	6																																																																																																																																																																																																												
仕上げる種別	打増し厚さ	施工部位	備考																																																																																																																																																																																																										
B種		全体																																																																																																																																																																																																											
施工部位	継手の種類	備考(重ね継手の長さ等)																																																																																																																																																																																																											
全体																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	配筋の方法	その他特記すべき事項																																																																																																																																																																																																											
全体	【 ・(参-)による。 ○図示 】 【 ・(参-)による。 ・図示 】																																																																																																																																																																																																												

15 左官工事 へ続き	④仕上塗材仕上げ(15.6.2) (表15.6.1)	<table><tr><td>種類</td><td>呼び名</td><td>仕上げの形状・工法等</td></tr><tr><td colspan="3">図示による</td></tr></table>	種類	呼び名	仕上げの形状・工法等	図示による			9 建具用金物 (16.8.2)(16.8.3) (表16.8.1)	(1) 建具用金物の材質、形状及び寸法 <table><tr><td>形式</td><td>金物の種類</td><td>見え掛り部の材質</td><td>備考</td></tr></table>	形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考	3 合成樹脂塗床 (19.4.3)	エポキシ樹脂系塗床の仕上げの種類: <table><tr><td>施工箇所</td><td>工法</td><td>品名</td><td>備考(樹種、種別等)</td></tr></table>	施工箇所	工法	品名	備考(樹種、種別等)	21 排水工事	1 排水管 (21.2.1)	<table><tr><td>材種</td><td>管の種類</td><td>呼び径</td><td>備考</td></tr></table>	材種	管の種類	呼び径	備考	
	種類	呼び名	仕上げの形状・工法等																									
	図示による																											
	形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考																								
	施工箇所	工法	品名	備考(樹種、種別等)																								
	材種	管の種類	呼び径	備考																								
	5 マスチック塗料塗り(表15.7.2)	<table><tr><td>工程</td><td>種別</td><td>塗料その他</td></tr></table>	工程	種別	塗料その他	10 鍵 (16.8.4)	(2) 建具用金物の取付け位置等は、図示による。	4 フローリング張り (19.5.2)(19.5.3)	体育館、武道場等の床の強度、弾力性を特に要求される広い床は、日本体育床下地工業会編「体育館床工事標準施工要領書」による。	2 側溝、排水枡等 (21.2.1)	(1) 側溝 <table><tr><td>形状</td><td>寸法</td><td>備考</td></tr></table>	形状	寸法	備考														
	工程	種別	塗料その他																									
	形状	寸法	備考																									
	6 セッコウプラストー塗り(15.8.2)(15.8.3)	(1) 下塗り及び中塗りに用いるセッコウプラストー・既調合プラストー(下塗り用)・現場調合プラストー(下塗り用)	(2) 上塗り:・既調合プラストー(上塗り用)・しっくい塗り	11 自動ドア開閉装置 (16.9.3) (表16.9.4)	(1) マスターキー:【・製作する ・製作しない】 (2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。	5 フローリングボードの特殊張り	(1) 量の種別【・A種 ・B種 ・C種 ・D種(種別:)】 (2) 量表に使用する材料は沖縄県産とする。	3 基底(21.2.2)	(2) 排水枡 <table><tr><td>種類</td><td>適用荷重</td><td>備考</td></tr></table>	種類	適用荷重	備考																
種類	適用荷重	備考																										
7 しっくい塗り(15.10.2)	(1) しっくい:・現場調合材料・既調合材料()		12 シャッター (16.11.2) (16.12.2) (16.12.4)	(1) 戸の開閉方法:【・引戸 ・開き戸 ・折戸】 (2) センサーの種類:	6 敷敷き (19.6.2)	(1) 量の種別【・A種 ・B種 ・C種 ・D種(種別:)】 (2) 量表に使用する材料は沖縄県産とする。	4 街きよ、緑石及び側溝(21.3.1)	(3) グレーチング <table><tr><td>材質</td><td>用途</td><td>適用荷重</td><td>メインバーピッチ</td><td>備考</td></tr></table>	材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考															
材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考																								
8 ロックウール吹付け(15.12.3)	仕上げ厚さ:			(3) 耐風圧性能の区分: (4) 重量シャッターの場合のシャッターケース:【・設ける ・設けない】 (5) スラットの形式:【・インターロック型形 ・オーバーラッピング形】	7 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2) (19.7.3) (表19.7.5)	(1) セッコウボード <table><tr><td>規格名称</td><td>種類の記号</td><td>厚さ</td><td>施工箇所</td><td>目地工法の種類</td></tr></table>	規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類		(4) 地盤の材料:【 】 (5) 基礎の厚さ及び種類:図示による。															
規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類																								
16 建具工事	1 防火戸等 (16.1.3)(16.1.6)	(1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。 (2) 防火建物部品の適用は、図示による。	13 オーバーヘッドドア(16.13.2)	(1) 耐風圧性能の区分: (2) 開閉機能:【※バランス式 ・チェーン式 ・電動式】 (3) 収納形式による区分:	8 壁紙張り (19.8.2)	(1) セッコウボード <table><tr><td>規格名称</td><td>種類の記号</td><td>厚さ</td><td>施工箇所</td><td>目地工法の種類</td></tr></table>	規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類	22 舗装工事	1 路床(22.2.2) (22.2.3)(22.2.5) (表22.2.1)	(1) 路床の種類等 <table><tr><td>層の種類</td><td>厚さ</td><td>盛土の材料</td><td>路床安定処理</td><td>試験</td></tr></table>	層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験									
規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類																								
層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験																								
3 アルミニウム製建具 (16.2.2) (16.2.4) (16.2.5) (表14.2.1) (表16.2.1)	(1) 建具の性能等 <table><tr><td>種別</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>特見込み寸法</td><td>施工箇所</td></tr></table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み寸法	施工箇所	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>施工箇所</td><td>等級</td><td>備考</td></tr></table>	ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	14 ガラス (16.14.2) (16.14.4) (16.14.5)	(1) ガラスの種類及び厚さ等 <table><tr><td>ガラスの種類</td><td>厚さ等</td><td>備考</td></tr></table>	ガラスの種類	厚さ等	備考	9 断熱及び防露 (19.9.3)(19.9.4)	(1) セッコウボード <table><tr><td>規格名称</td><td>種類の記号</td><td>厚さ</td><td>施工箇所</td><td>目地工法の種類</td></tr></table>	規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類	2 路盤 (22.3.2)(22.3.5)	(2) 路盤の厚さ:【 】 (3) 締固め試験:【 】		
種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み寸法	施工箇所																							
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																									
ガラスの種類	厚さ等	備考																										
規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類																								
4 樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.3) (16.3.4) (表16.3.1) (表16.3.2) (表16.3.3) (表16.3.4)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>施工箇所</td><td>等級</td><td>備考</td></tr></table>	ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	(3) 熱線反射ガラスの映像調整: (4) ガラスブロックの材料及び工法: <table><tr><td>表面形状呼び寸法</td><td>厚さ</td><td>壁用金属枠</td><td>補強材</td><td>色</td><td>金属製化粧カバー</td></tr></table>	表面形状呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー	20 ユニツト及びその他工事	1 フリーアークセプロア(20.2.2)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>寸法</td><td>高さ</td><td>耐震性能</td><td>所定荷重</td><td>帯電防止性能</td><td>漏えい抵抗</td></tr></table>	施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗	3 アスファルト舗装 (22.4.2) (22.4.4) (22.4.5)	(1) 構成及び厚さ:【・図示による(A-) ・ 】 (2) 加熱アスファルト混合物等の種類:【・密粒度アスファルト混合物(13) ・再粒度アスファルト混合物(13)】				
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																									
表面形状呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー																							
施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗																						
5 鋼製建具 (16.4.2)	(3) 表面色: (4) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス:・複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【・ 】	(4) 結露水の処理方法: (5) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。	17 カーテンウォール工事	(1) カーテンウォールの種類:【・メタル ・PC】 (2) 性能 <table><tr><td>耐風圧性</td><td>耐震性</td><td>水密性</td><td>気密性</td><td>耐火性</td><td>耐温度性</td><td>遮音性</td><td>断熱性</td></tr></table>	耐風圧性	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性	8 断熱及び防露 (19.9.3)(19.9.4)	(2) 合板の種類 <table><tr><td>合板の名称</td><td>施工箇所</td><td>その他の仕様</td></tr></table>	合板の名称	施工箇所	その他の仕様	4 3 アスファルト舗装 (22.4.2) (22.4.4) (22.4.5)	(3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材:【 ・ 】 (4) 品質及び防火性能:【 】									
耐風圧性	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性																					
合板の名称	施工箇所	その他の仕様																										
6 鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.2.1)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>施工箇所</td><td>等級</td><td>備考</td></tr></table>	ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	(3) 熱線反射ガラスの映像調整: (4) ガラスブロックの材料及び工法: <table><tr><td>表面形状呼び寸法</td><td>厚さ</td><td>壁用金属枠</td><td>補強材</td><td>色</td><td>金属製化粧カバー</td></tr></table>	表面形状呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー	4 トイレブース (20.2.5)	(1) セッコウボード <table><tr><td>規格名称</td><td>種類の記号</td><td>厚さ</td><td>施工箇所</td><td>目地工法の種類</td></tr></table>	規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類	5 手すり (20.2.6)	(2) 合板の種類 <table><tr><td>合板の名称</td><td>施工箇所</td><td>その他の仕様</td></tr></table>	合板の名称	施工箇所	その他の仕様	6 階段滑り止め (20.2.6)	(3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材:【 ・ 】 (4) 品質及び防火性能:【 】		
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																									
表面形状呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー																							
規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類																								
合板の名称	施工箇所	その他の仕様																										
7 ステンレス製建具 (16.6.2)(16.6.3)	(1) 建具の性能等 <table><tr><td>施工箇所</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>耐風圧性</td><td>備考(材料等)</td></tr></table>	施工箇所	耐風圧性	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>施工箇所</td><td>等級</td><td>備考</td></tr></table>	ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	18 塗装工事	(1) 塗装の種類及び種別 (18.1.7) (18.2.2) (表18.1.3)	9 カーテン (20.2.16)	(1) セッコウボード <table><tr><td>規格名称</td><td>種類の記号</td><td>厚さ</td><td>施工箇所</td><td>目地工法の種類</td></tr></table>	規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類	10 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2) (20.4.3)	(2) 合板の種類 <table><tr><td>合板の名称</td><td>施工箇所</td><td>その他の仕様</td></tr></table>	合板の名称	施工箇所	その他の仕様	11 かつふきマット (20.4.2)	(3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材:【 ・ 】 (4) 品質及び防火性能:【 】
施工箇所	耐風圧性	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)																							
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																									
規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類																								
合板の名称	施工箇所	その他の仕様																										
8 木製建具 (16.7.2) (16.7.4)	(3) 表面色: (4) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス:・複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【・ 】	(4) 結露水の処理方法: (5) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。	19 内装工事	(1) ビニル床シート等の種類 (19.2.2) (19.2.3)	10 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2) (20.4.3)	(1) セッコウボード <table><tr><td>規格名称</td><td>種類の記号</td><td>厚さ</td><td>施工箇所</td><td>目地工法の種類</td></tr></table>	規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類	11 かつふきマット (20.4.2)	(2) 合板の種類 <table><tr><td>合板の名称</td><td>施工箇所</td><td>その他の仕様</td></tr></table>	合板の名称	施工箇所	その他の仕様	12 流し合ユニット (20.4.2)	(3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材:【 ・ 】 (4) 品質及び防火性能:【 】										
規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類																								
合板の名称	施工箇所	その他の仕様																										

工事名称	石垣北部地区建築工事(その5)	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間250-7	図面名称	建築工事特記仕様書(その4)
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	-
描 要		図面番号	A-04
検 印	管理建築士 設 計 製 図	名 称	有限会社 朝吹設計事務所
		設計者氏名	管理建築士 朝 吹 一 郎
		登録番号	1級建築士 第 114962 号
		登録番号	第 133-1792 号
		所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32



配置図 S:1/200

■計画（建築物）概要書

工事名称	石垣北部地区建築設計委託業務					
敷地概要	地名地番	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7				
	敷地面積	2863.53㎡				
	都市計画区域	都市計画区域内				
	用途地域	なし				
	防火地域	なし				
	指定建蔽率	なし				
	指定容積率	なし				
	高さ制限	なし				
	日影規制	なし				
建築概要	建物用途	牛舎		堆肥舎		
	工事種別	新築工事		新築工事		
	構造	鉄筋コンクリート造		鉄筋コンクリート造		
	建築面積	396.24㎡	床面積	396.24㎡	建築面積	84.00㎡
	階数	平屋建て		平屋建て		
	地盤面	設計GL±0		設計GL±0		
	最高高さ	4.720m		4.445m		
	軒の高さ	3.500m		4.150m		

表示板 No Scale

表示板寸法：A4サイズ（アクリル板 厚5）
表示板は黒、文字は白で白とする。

○	施設年度	令和4年度
○	事業名	畜産担い手育成総合整備事業
○	地区名	石垣北部地区
○	発注者	公益財団法人 沖縄県農業振興公社 〔沖縄県農林水産部畜産課〕
○	施工者	工事施工者名記入
○	施設	牛舎
○	竣工	令和〇年〇月

○	施設年度	令和4年度
○	事業名	畜産担い手育成総合整備事業
○	地区名	石垣北部地区
○	発注者	公益財団法人 沖縄県農業振興公社 〔沖縄県農林水産部畜産課〕
○	施工者	工事施工者名記入
○	施設	堆肥舎
○	竣工	令和〇年〇月

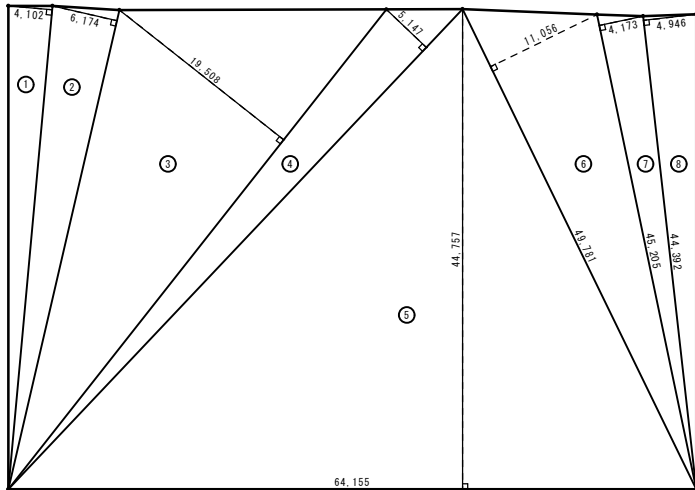


沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7

案内図 No Scale

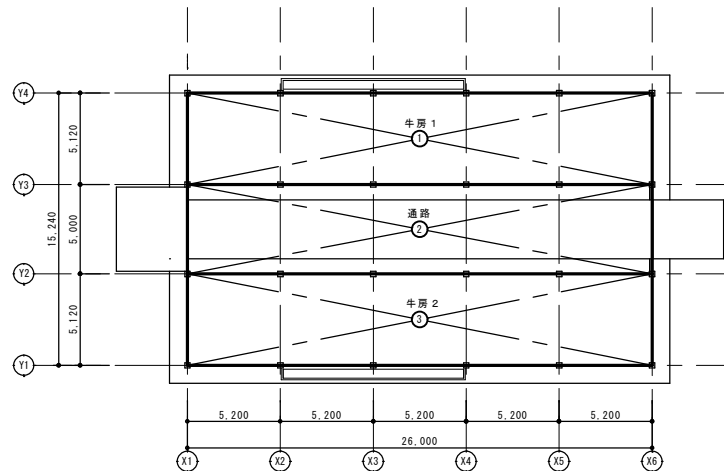
伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和7年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	案内図・配置図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
描要		図面番号	A-05
		名称	有限会社 朝吹設計事務所
		資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
		登録番号	1級建築士 第114962号 登録番号 第133-1732号
		所在地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32



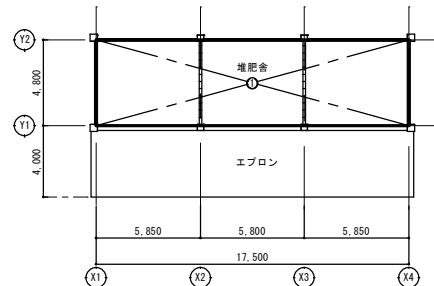
敷地面積求積図 S : 1/250

敷地面積求積表			
地番	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7		
番号	計 算 式	面 積	
①	45.268 × 4.102 × 0.5	92.8446	
②	45.851 × 6.174 × 0.5	141.5420	
③	56.958 × 19.508 × 0.5	555.5683	
④	61.625 × 5.147 × 0.5	158.5919	
⑤	64.155 × 44.757 × 0.5	1435.6926	
⑥	49.781 × 11.056 × 0.5	275.1893	
⑦	45.205 × 4.173 × 0.5	94.3202	
⑧	44.392 × 4.946 × 0.5	109.7814	
合 計		2863.5303	
敷 地 面 積		2863.53 m ²	



牛舎 建築面積・床面積求積図 S : 1/150

牛舎 床面積・建築面積算定表			
符 号	室 名	計 算 式	床面積
①	牛房 1	26.000 × 5.120	133.120
②	通路	26.000 × 5.000	130.000
③	牛房 2	26.000 × 5.120	133.120
小計			396.240
建築面積			396.24 m ²
床面積			396.24 m ²



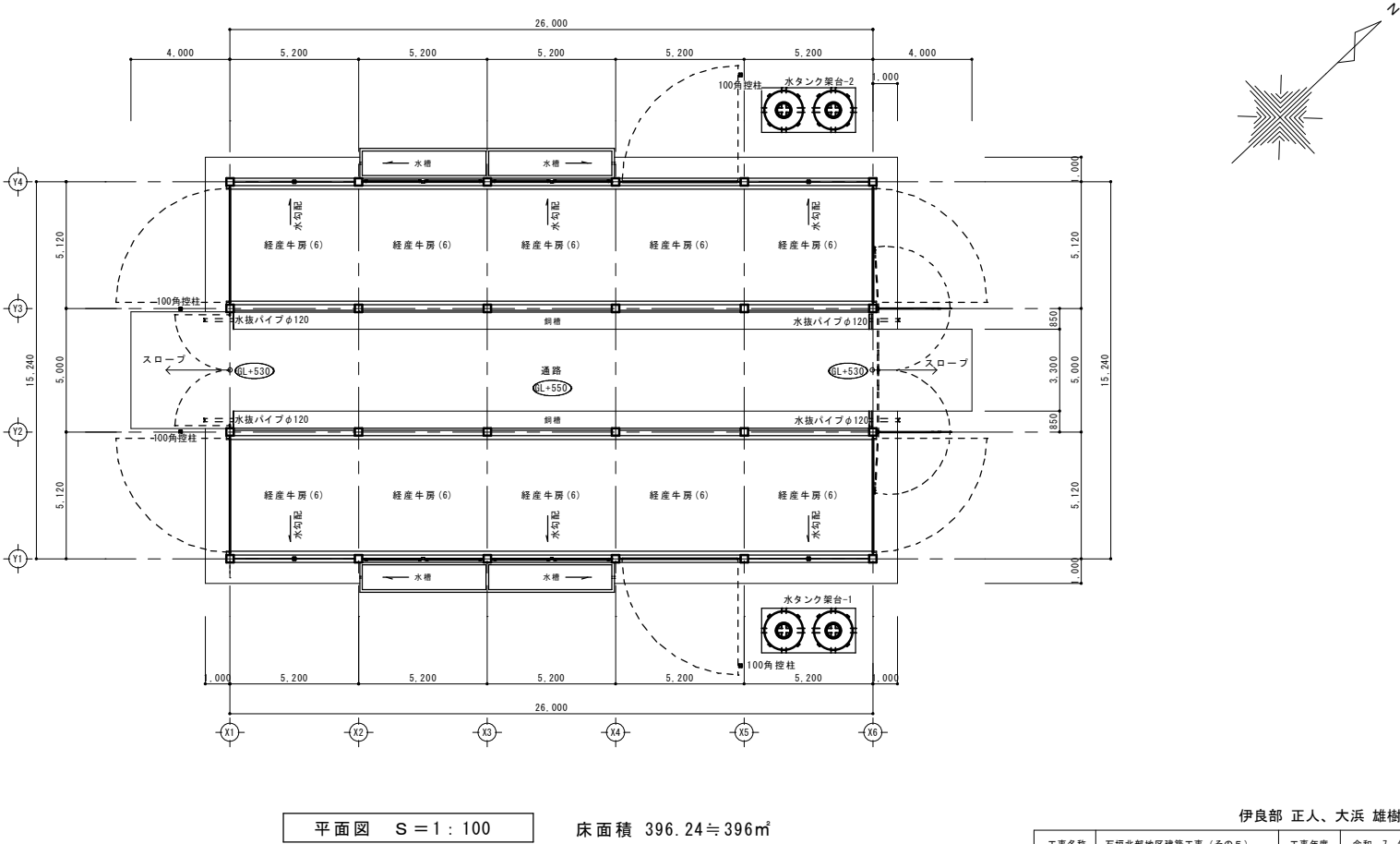
堆肥舎 建築面積・床面積求積図 S : 1/150

堆肥舎 床面積・建築面積算定表			
符 号	室 名	計 算 式	床面積
①	堆肥舎	17.500 × 4.800	84.000
小計			84.00
建築面積			84.00 m ²
床面積			84.00 m ²

伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	敷地面積求積図、床面積求積図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/150・250 A3:1/300・500
摘 要		図面番号	A— 06
		設 名 称	有限会社 朝吹設計事務所
		資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
		登録番号	1級建築士 第 114962 号 登録番号 第 133-1792 号
		所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32

内 外 部 仕 上 表					
部 位	仕 上	備 考	部 位	仕 上	備 考
柱・梁	コンクリート打放し補修		屋 根	屋根基材：厚1.5mm塩ビ畜産波板（M波）山高18mmピッチ63mm JIS表示許可製品、国土交通大臣認定 光透過率5%以下	ステンレススクリュービス使用 L=65 ワッシャーパッキン
犬走り	コンクリート直均し仕上 溶接金網：6×150×150敷き			軒 樋：Φ75vp管	
スロープ	コンクリート直均し仕上（先端部分20mm面取）溶接金網：6×150×150敷き				
通 路	床：コンクリート直均し仕上 溶接金網：6×150×150敷き				
牛 舎	床：コンクリート直均しの上菱形模様タッピング押さえ（滑り止め）仕上 溶接金網：6×150×150敷き		特記事項：		
			母屋取付用ステンレスアンカーは、M12×225とする。		
			屋根材取付用ステンレススクリュービスのピッチは、軒、棟周辺1mまではΦ500×126(1山飛ばし)とし、 一般部はΦ500×126(1山飛ばし)とする。		
			屋根材の重ね部分は、シーリング処理を行う。		

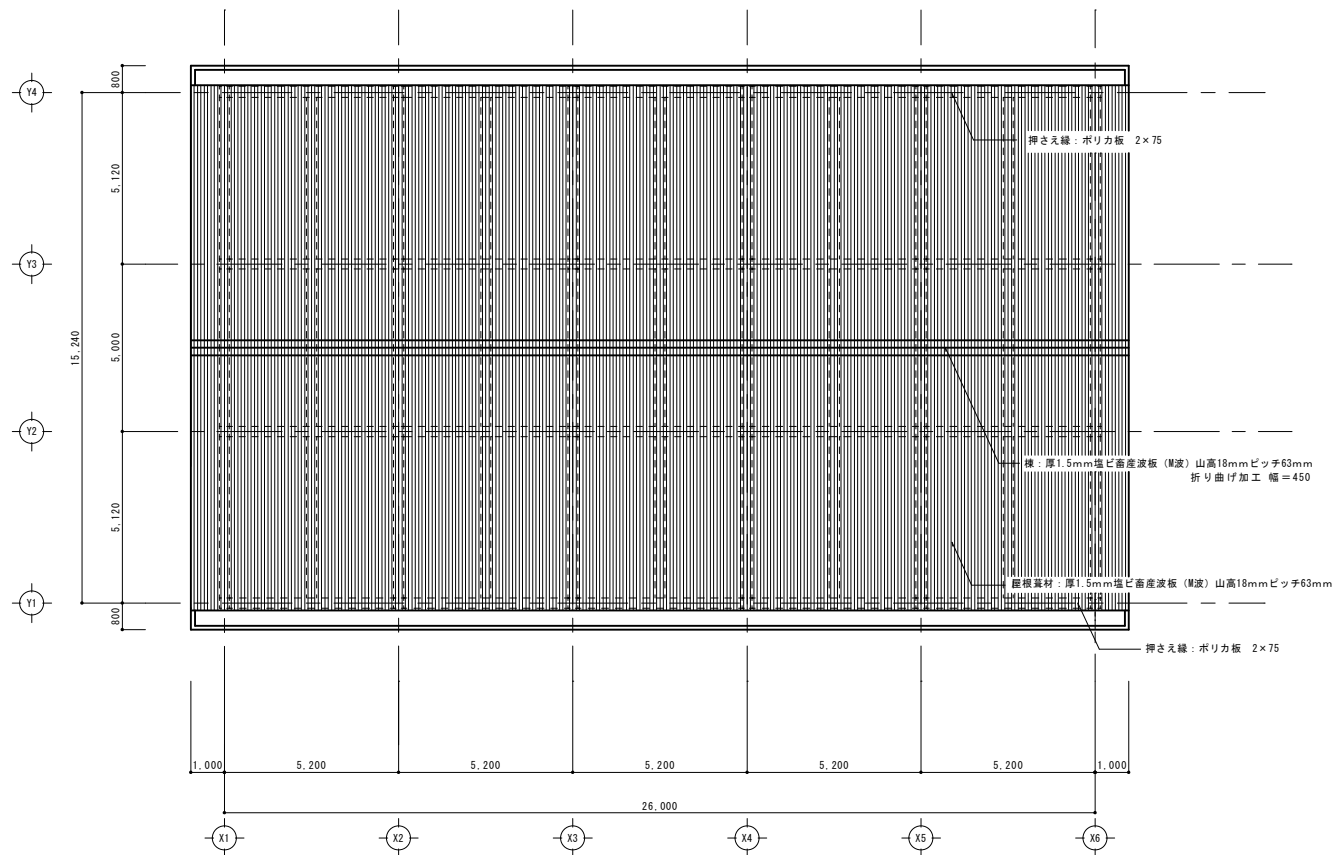


平面図 S = 1 : 100

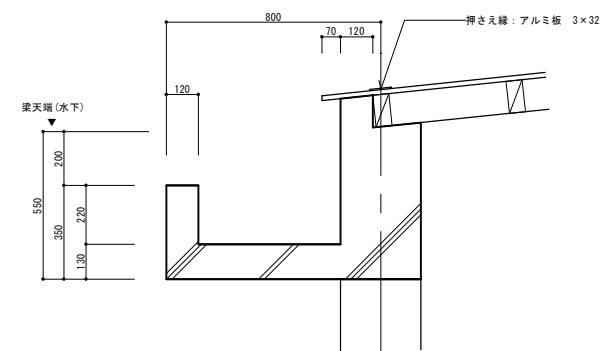
床面積 396.24≒396㎡

伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

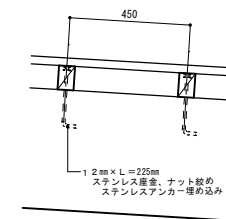
工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛舎：平面図・仕上表
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/100 A3:1/200
		図面番号	A— 07
摘 要		設 名 称	有限会社 朝吹設計事務所
		資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
		登録番号	1級建築士 第 114962 号 登録番号 第 133-1792 号
		所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32



屋根伏図 S: 1/80

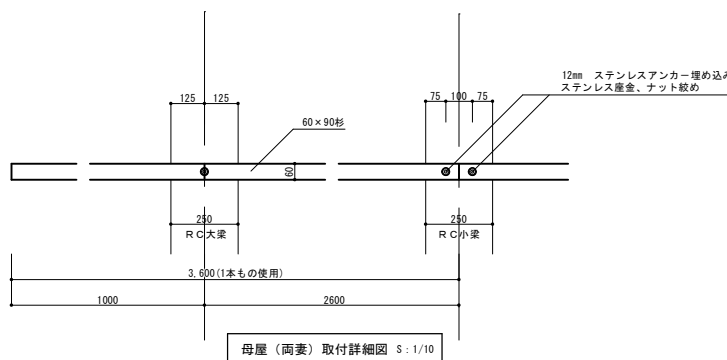


軒端詳細図 S: 1/10

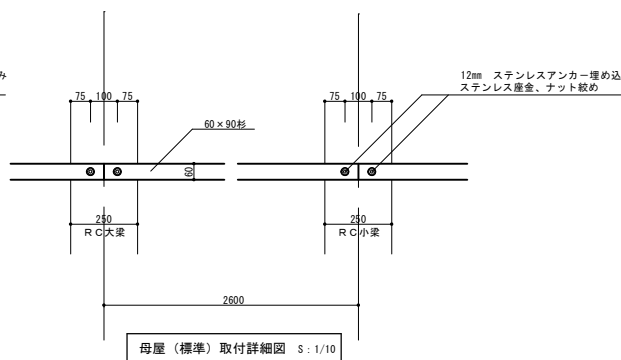


母屋取付詳細図 S: 1/10

特記事項:
母屋取付用ステンレスアンカーは、M12×225とする。
屋根材取付用ステンレススクリュービスのピッチは、軒、棟周辺81mmまでは@500×126(1山飛ばし)とし、一般部は@500×126(1山とばし)とする。
屋根材の重ね部分は、シーリング処理を行う。



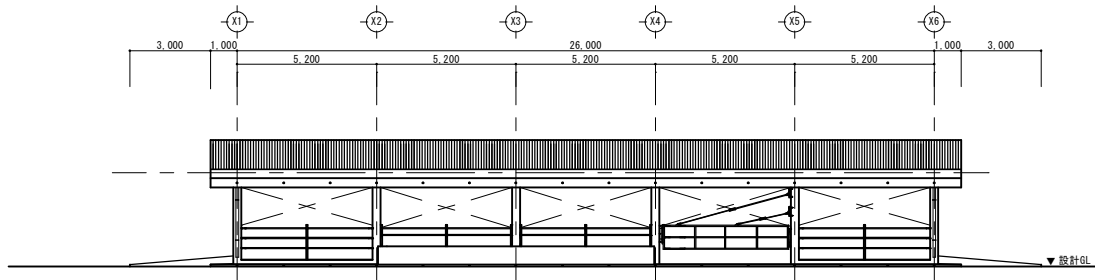
母屋 (両妻) 取付詳細図 S: 1/10



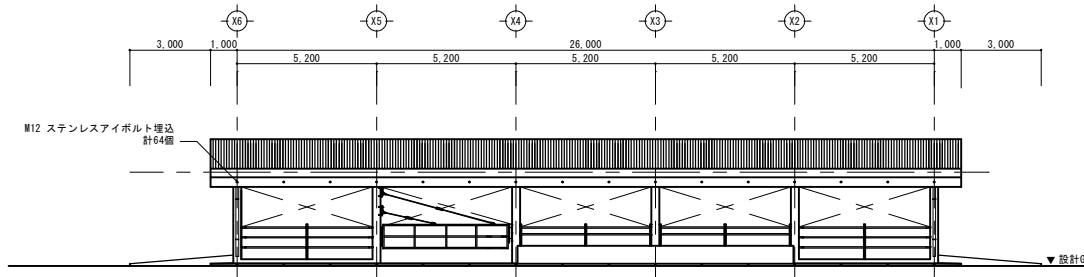
母屋 (標準) 取付詳細図 S: 1/10

伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

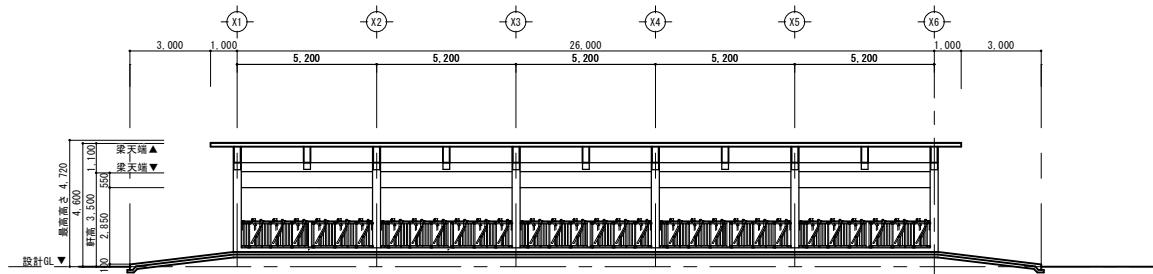
工事名称	石垣北部地区建築工事 (その5)	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛 舎 : 屋 根 伏 図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/80 A3:1/160
		図面番号	A-08
構 要		設 名 称	有限会社 朝吹設計事務所
		資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
		計 算 者	1級建築士 第 114962 号 登録番号 第 133-1792 号
		所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32



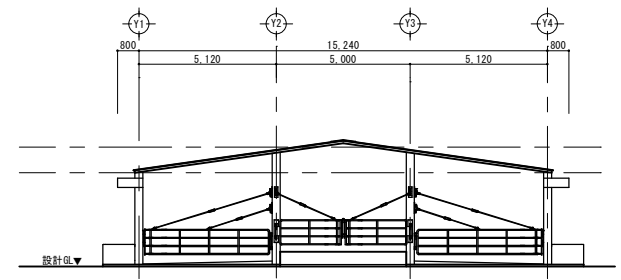
A 立面図 S=1/100



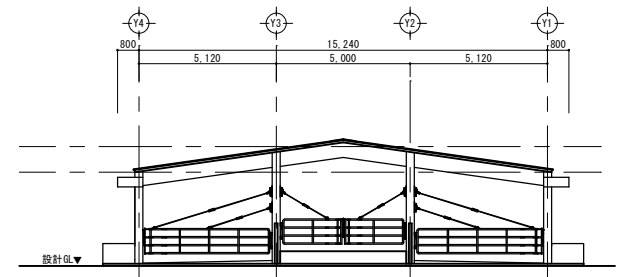
C 立面図 S=1/100



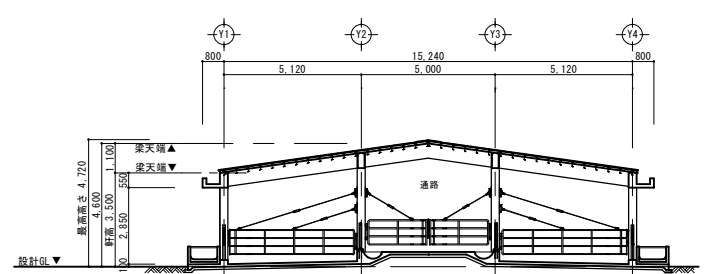
A-A' 断面図 S=1/100



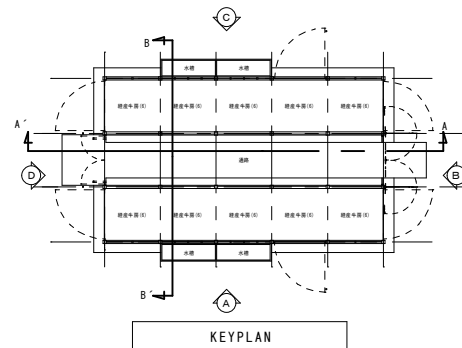
B 立面図 S=1/100



D 立面図 S=1/100

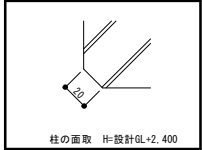
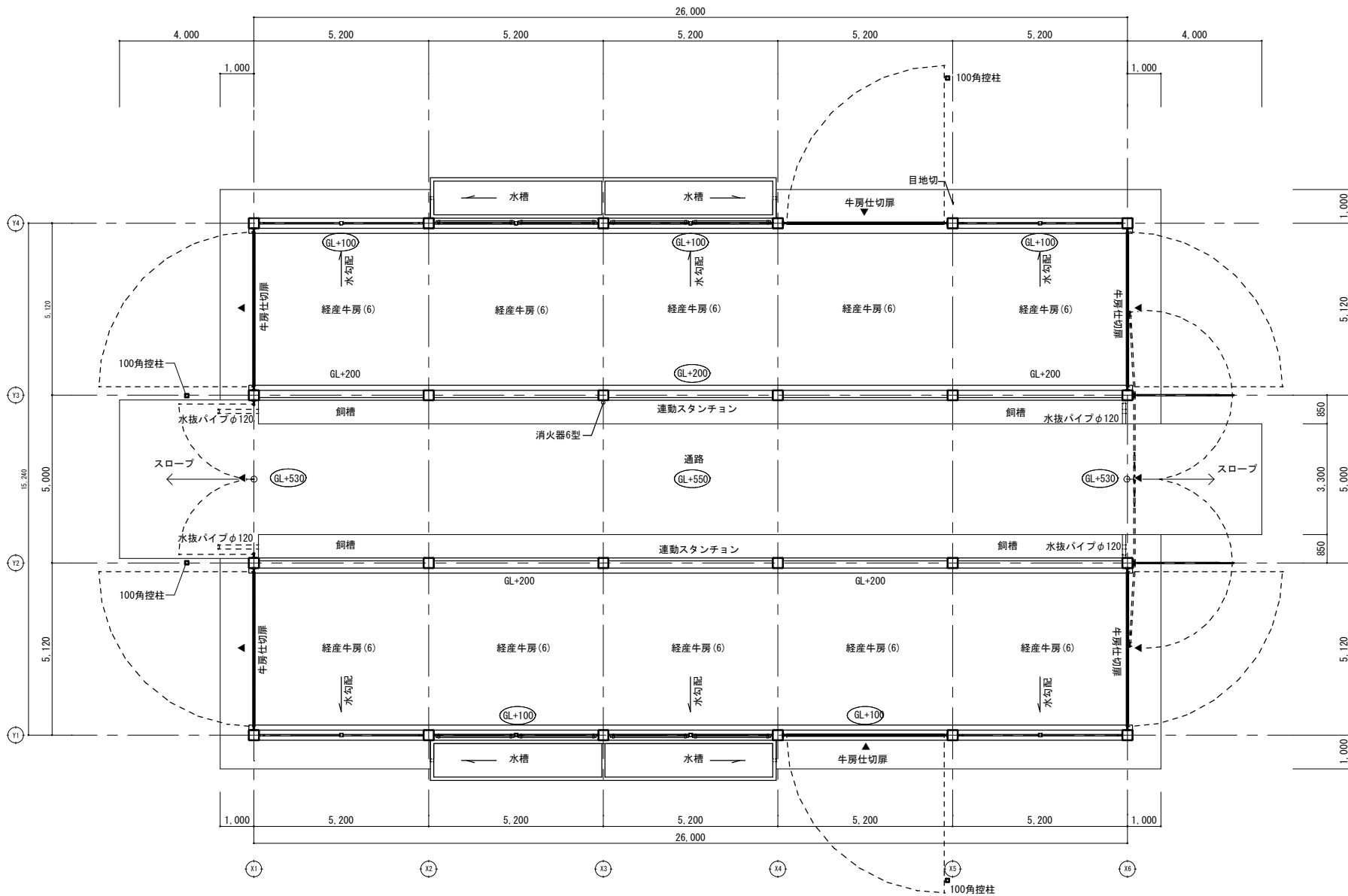


B-B' 断面図 S=1/100



伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

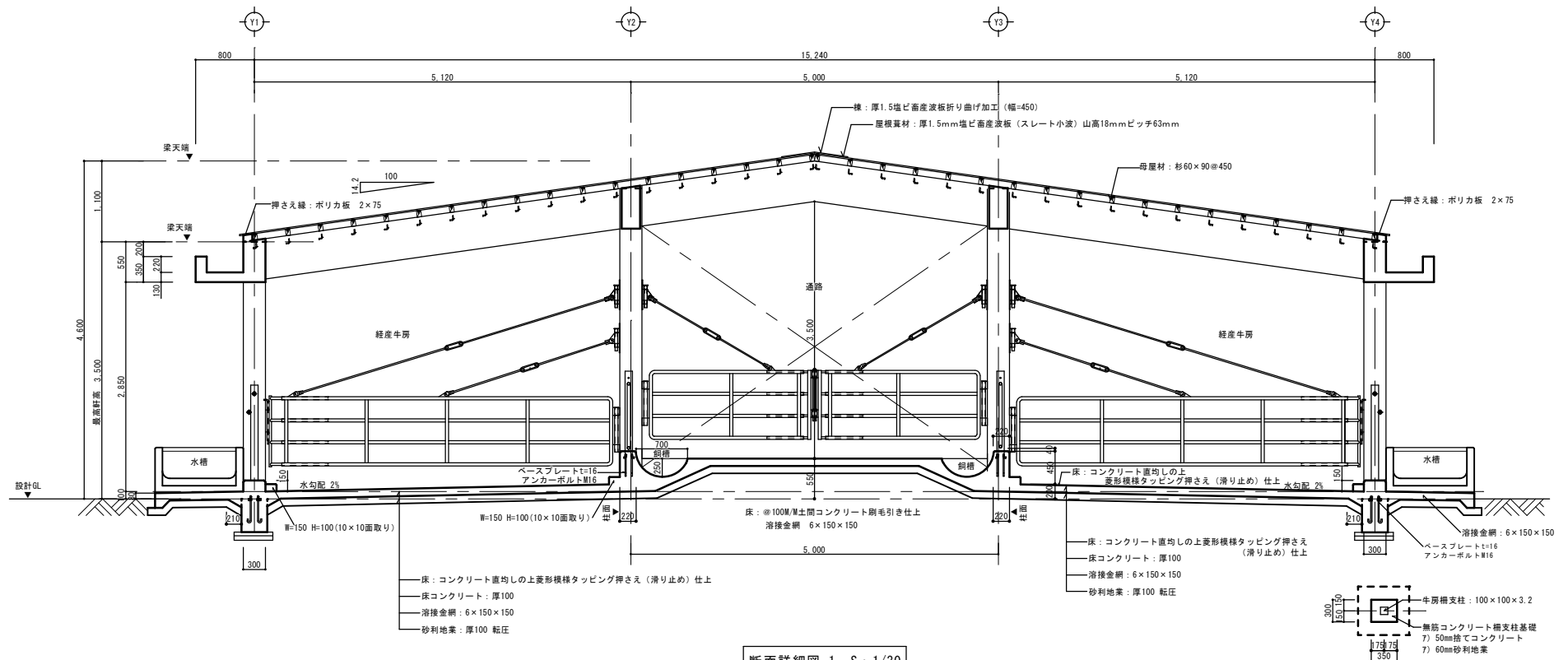
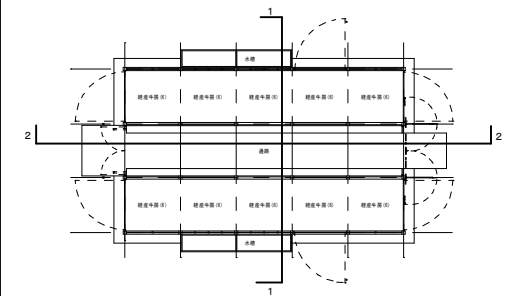
工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛舎：立面図・断面図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/100 A3:1/200
		図面番号	A— 09
構 要		設 名 称	有限会社 朝吹設計事務所
		資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
		登録番号	1級建築士 第 114962 号 登録番号 第 133-1792 号
		所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32



平面詳細図 S = 1/60

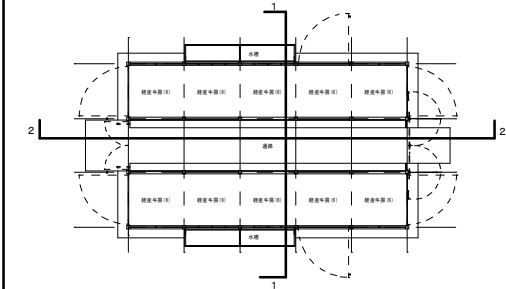
伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛 舎：平 面 詳 細 図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/60 A3:1/120
摘 要		図面番号	A — 10
設 計 者	名 称 有限会社 朝吹設計事務所 資格者氏名 管理建築士 朝吹 一郎 登録番号 1級建築士 第 114962 号 登録番号 第 133-1792 号 所 在 地 沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32		

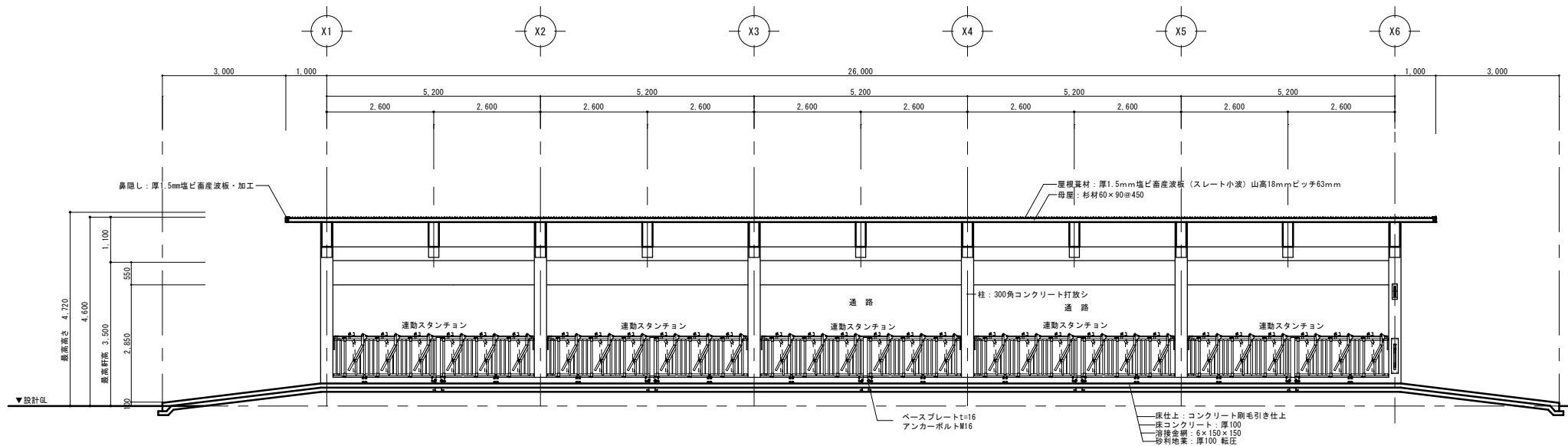


伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

工事名称	石垣北地区建築工事（その５）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カニンメン250-7	図面名称	牛舎：断面詳細図-1
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/30 A3:1/60
		図面番号	A—11
摘 要		設 名 称	有限会社 朝吹設計事務所
		資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
		登録番号	1級建築士 第114962号 登録番号 第133-1732号
		着 所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目番地32



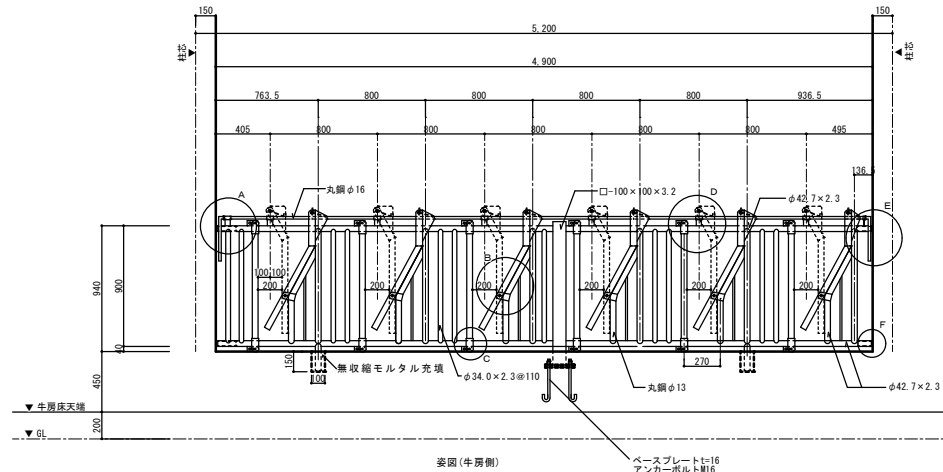
キープラン



断面詳細図-2 S : 1/50

伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

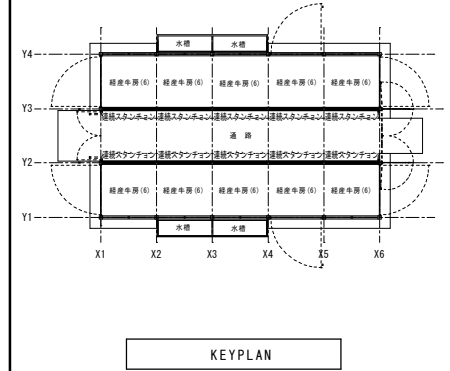
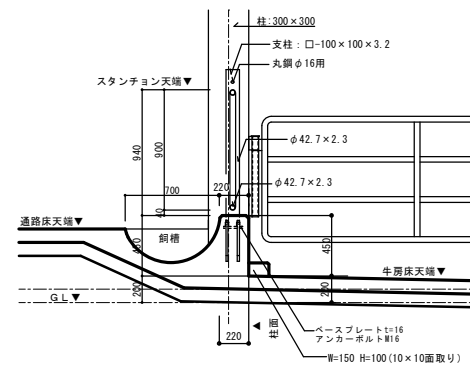
工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛舎：断面詳細図-2
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100
構 要		図面番号	A-12
設 名 称	有限会社 朝吹設計事務所	資 格 者 氏 名	管理建築士 朝吹 一郎
計 登 録 番 号	1級建築士 第 114962 号	登 録 番 号	第 133-1792 号
者 所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32		



運動スタクション詳細図

S=1/20

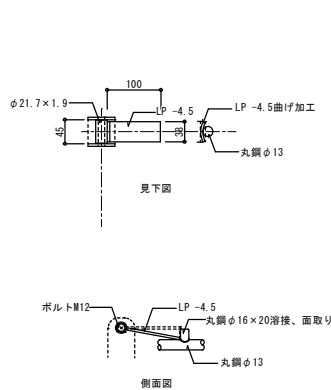
10カ所



KEYPLAN

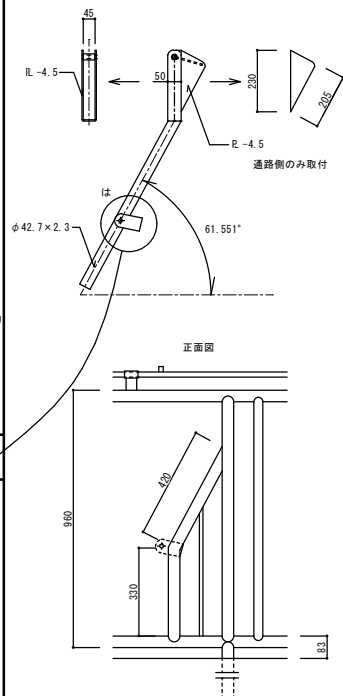
A部分詳細図

S: 1/5



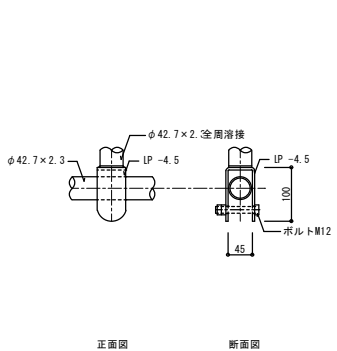
B部分詳細図

S: 1/10



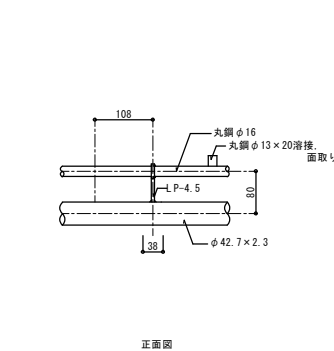
C部分詳細図

S: 1/5



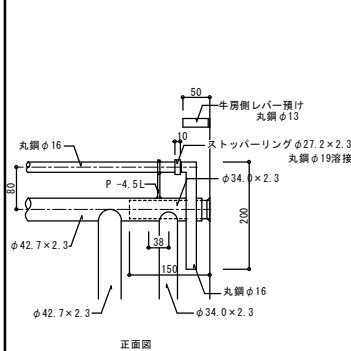
D部分詳細図

S: 1/5



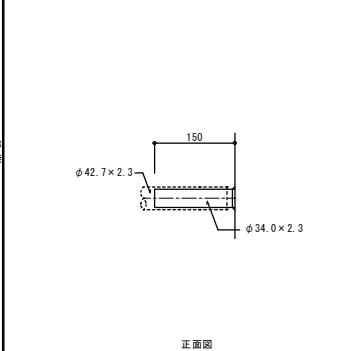
E部分詳細図

S: 1/5



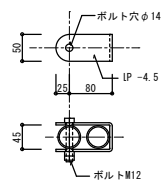
F部分詳細図

S: 1/5



は部分詳細図

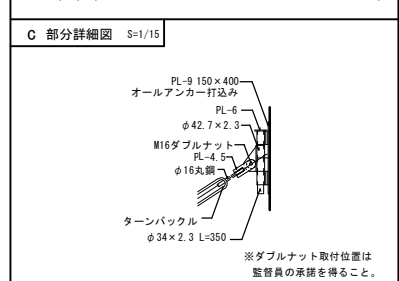
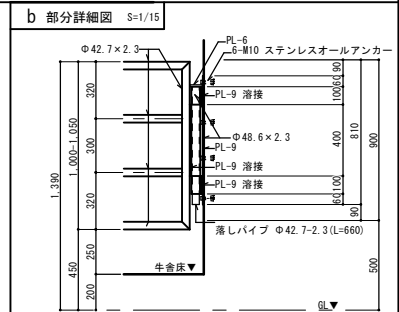
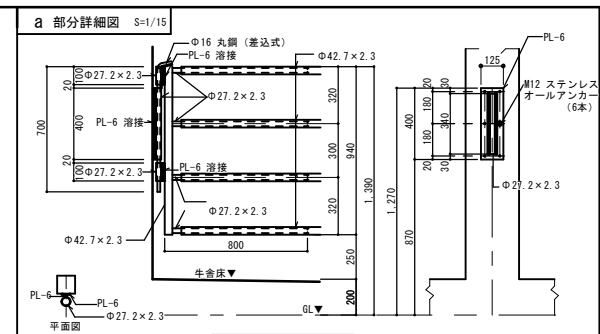
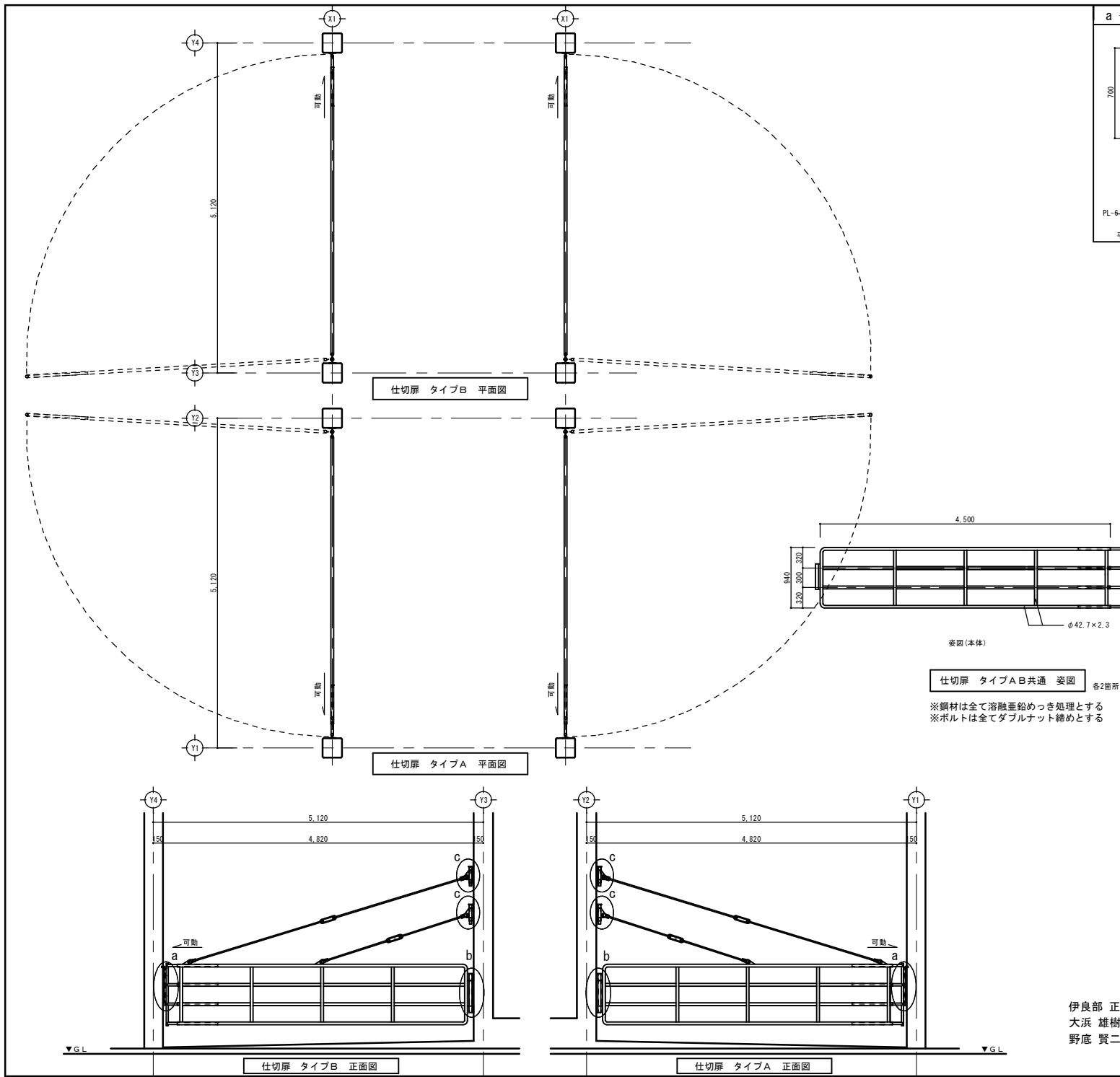
S: 1/5



※鋼材は全て溶融亜鉛めっき処理とする
※ボルトは全てダブルナット締めとする

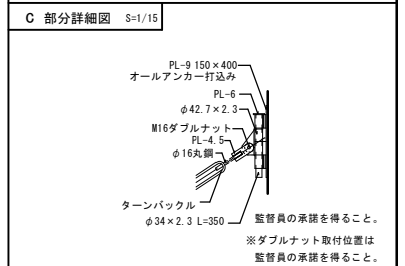
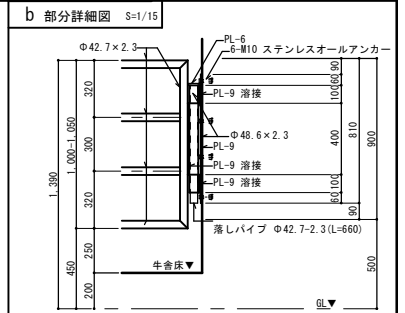
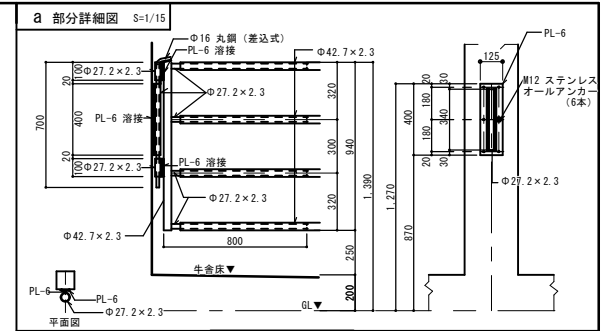
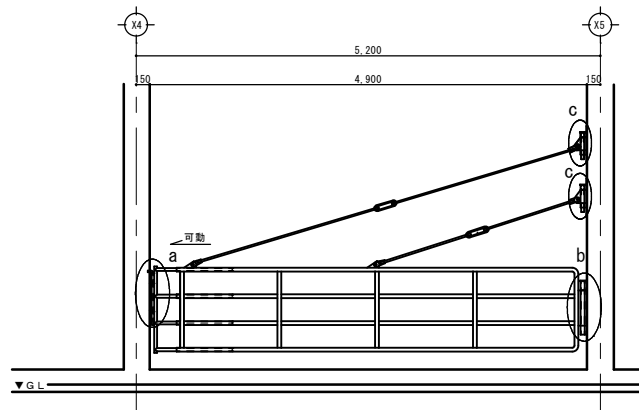
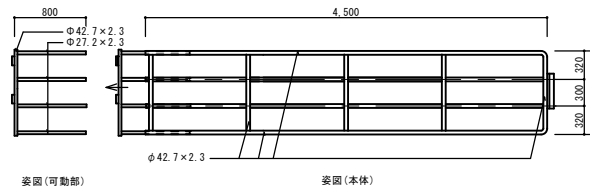
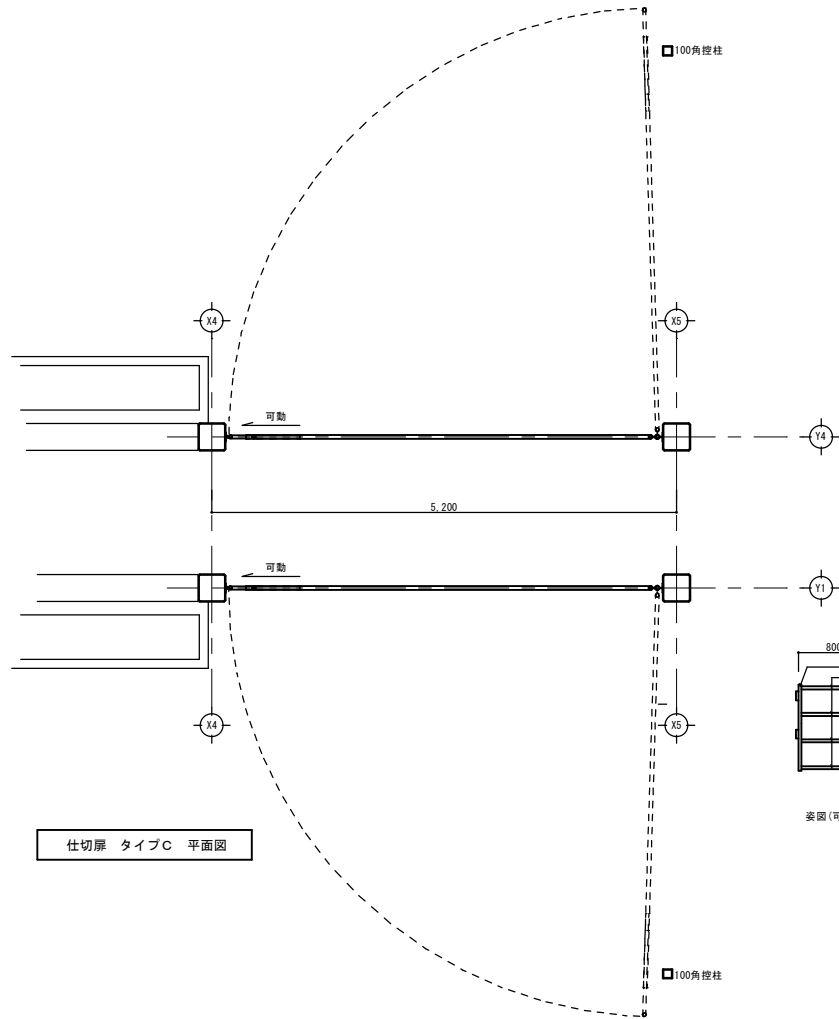
伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛舎：運動スタクション詳細図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/20 A3:1/40
		図面番号	A-13
構 要	名 称 有限会社 朝吹設計事務所 資格者氏名 管理建築士 朝吹 一郎 登録番号 1級建築士 第 114962 号 登録番号 第 133-1792 号 所 在 地 沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32		



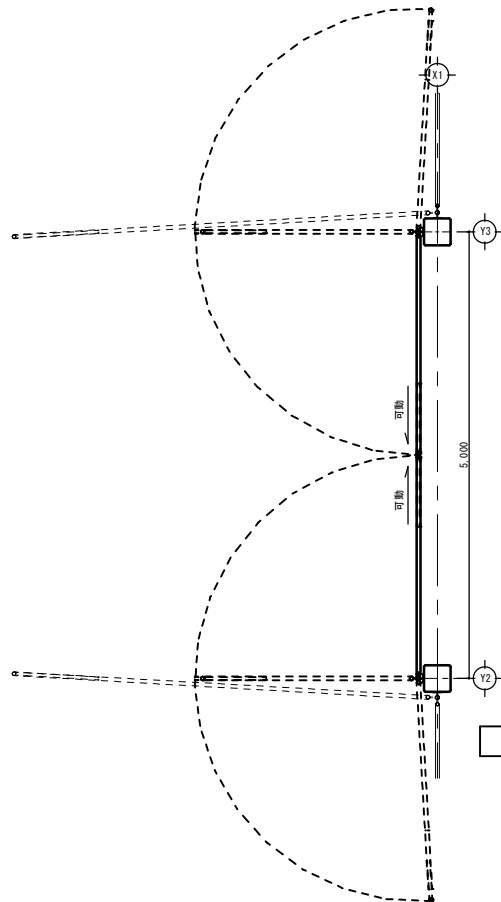
KEY PLAN			
工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛舎：仕切扉 A B 詳細図-1
縮 尺	A1:1/30 A3:1/60	図面番号	A-14
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	名 称	有限会社 朝吹設計事務所
機 要		資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
計		登録番号	1級建築士 第 114962 号
者		所在地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32

伊良部 正人
大浜 雄樹
野底 賢二

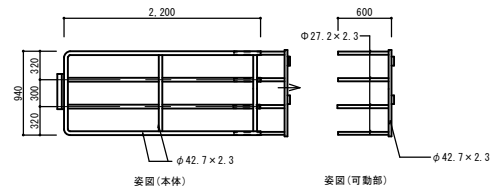


伊良部 正人
大浜 雄樹
野底 賢二

KEY PLAN			
工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カニン250-7	図面名称	牛舎：仕切扉C詳細図-2
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/30 A3:1/60
摘 要		図面番号	A—15
		設 名 称	有限会社 朝吹設計事務所
		資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
		登録番号	1級建築士 第114962号 登録番号 第133-1792号
所在地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32		

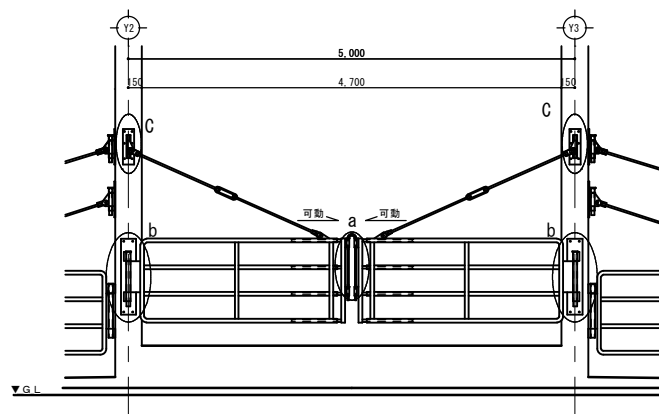


仕切扉 タイプD 平面図

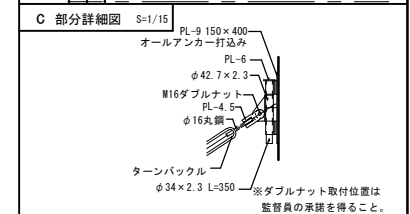
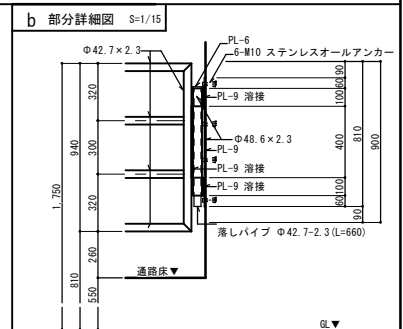
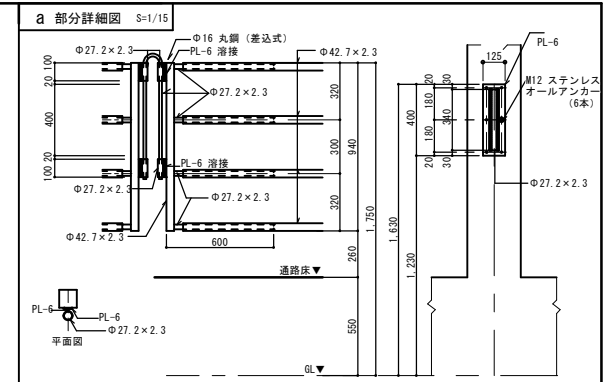


仕切扉 タイプD 姿図 1カ所2枚

※鋼材は全て溶融垂鉛めっき処理とする
※ボルトは全てダブルナット締めとする

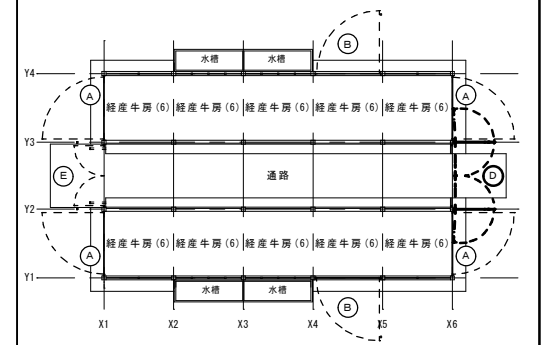


仕切扉 タイプD 正面図

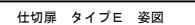
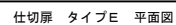


伊良部 正人
大浜 雄樹
野底 賢二

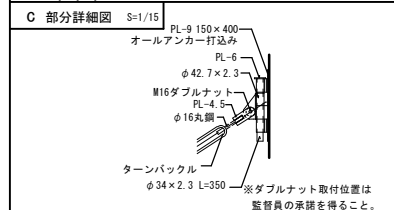
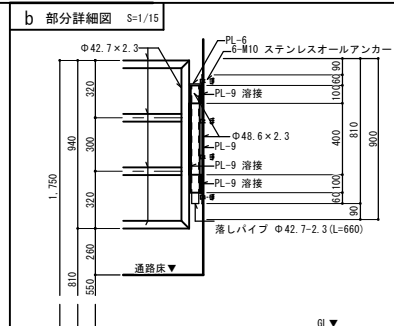
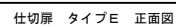
KEY PLAN



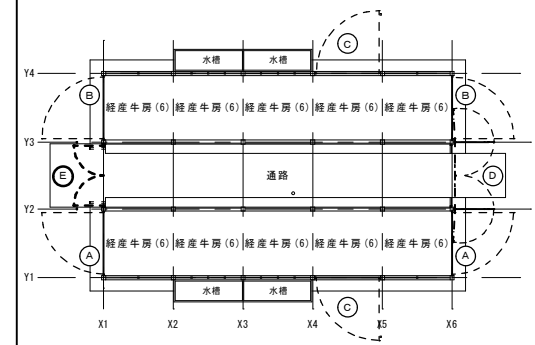
工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛舎：仕切扉D詳細図-3
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/30 A3:1/60
摘 要		図面番号	A-16
設 計 者	名 称 有限会社 朝吹設計事務所 資格者氏名 管理建築士 朝吹 一郎 登録番号 1級建築士 第 114962 号 登録番号 第 133-1792 号 所 在 地 沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32		



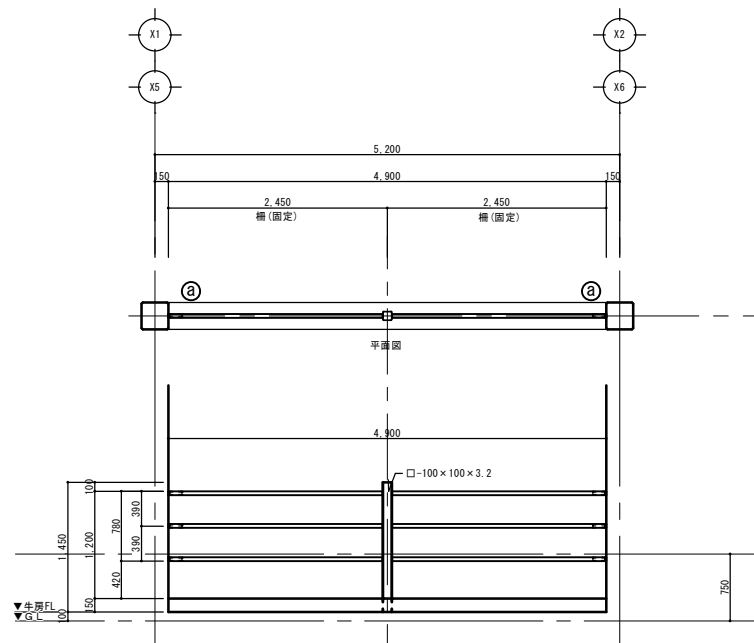
※鋼材は全て溶融亜鉛めっき処理とする
※ボルトは全てダブルナット締めとする



伊良部 正人
大浜 雄樹
野底 賢二



工事名称	石垣北部地区建築工事（その５）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間ランクN250-7	図面名称	牛舎：仕切扉E 詳細図-A
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	1/1:30 1/3:40
		図面番号	A—17
摘 要	<p>設 計 有 限 公 司 朝 吹 設 計 事 務 所</p> <p>資 格 者 氏 名 管 理 建 築 士 朝 吹 一 郎</p> <p>登 録 号 琉 球 工 業 114962 号</p> <p>登 録 号 琉 球 133-1792 号</p> <p>所 在 地 沖 縄 県 石 垣 市 浜 崎 町 2 丁 3 番 地 32</p>		

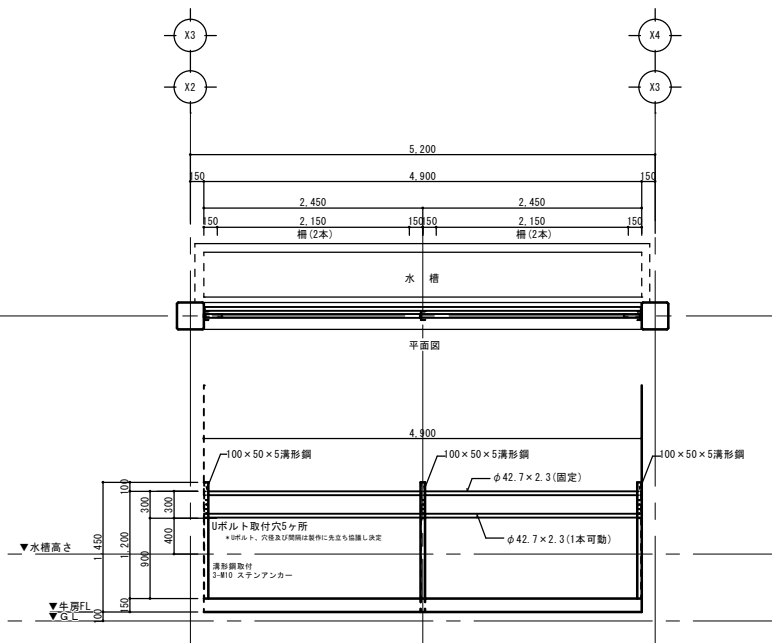


※鋼材は全て溶融亜鉛めっき処理とする
※ボルトは全てダブルナット締めとする

牛房柵⑦タイプ詳細図 S=1/30 4ヶ所

共通：支柱：□-100×100×3.2

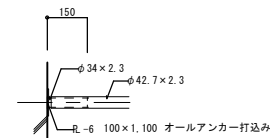
※鋼材は全て溶融亜鉛めっき処理とする
※ボルトは全てダブルナット締めとする



牛房柵(水槽)①タイプ詳細図 S=1/30 4ヶ所

共通：支柱：100×50×5溝形鋼
柵棒：φ42.7×2.3

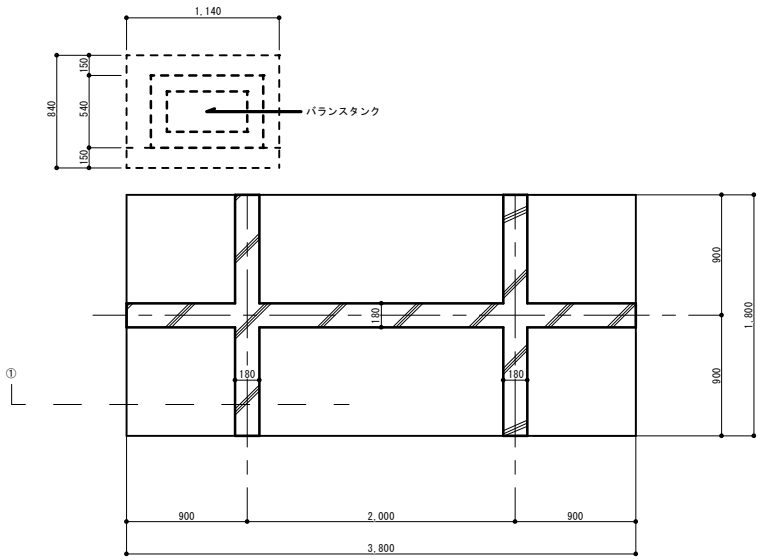
※鋼材は全て溶融亜鉛めっき処理とする
※ボルトは全てダブルナット締めとする



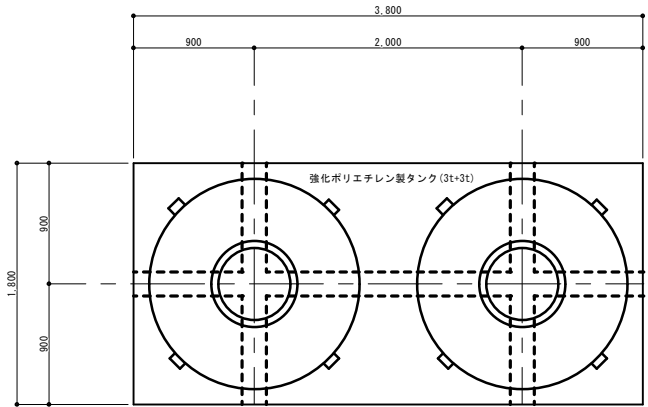
⑧ 部分詳細図 S=1/10

伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

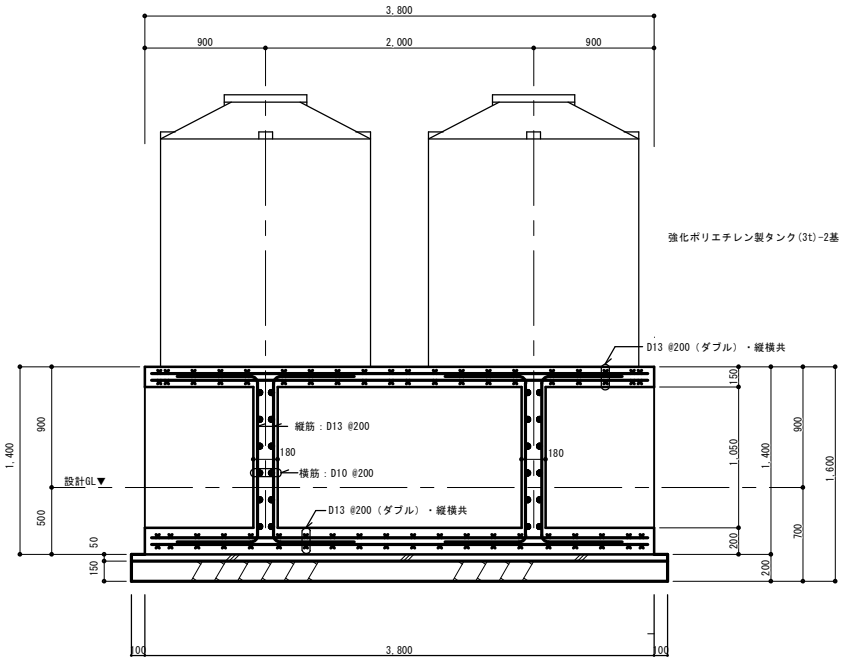
工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛舎：牛房柵（水槽）詳細図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/30 A3:1/60
図面番号	A—18	股 名	有限会社 朝吹設計事務所
構 要		資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
計		登録番号	1級建築士 第 114962 号 登録番号 第 133-1792 号
者		所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32



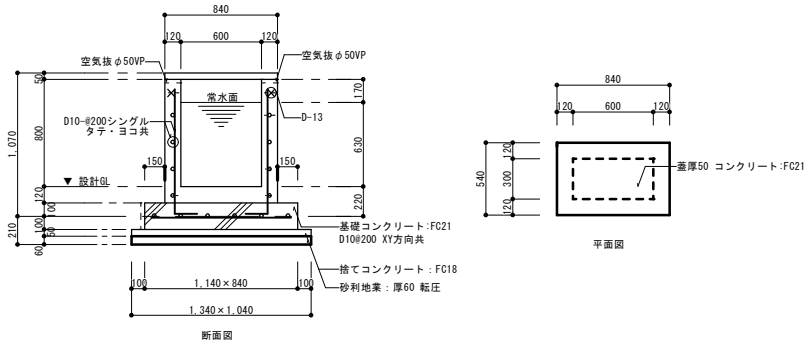
架台底部平面図



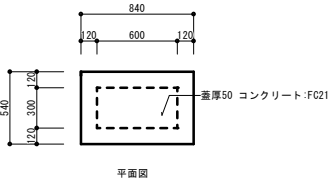
架台上部平面図



断面詳細図

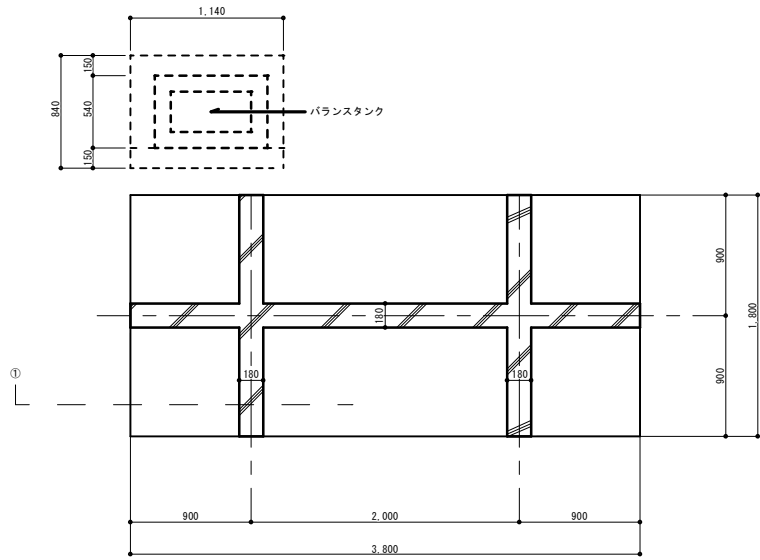


バランシングタンク詳細図 S=1/20

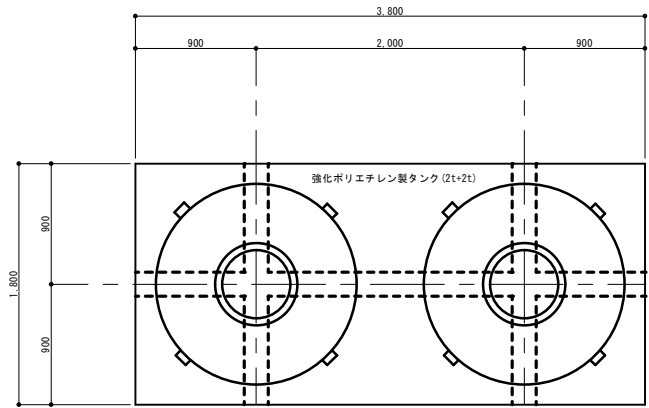


伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

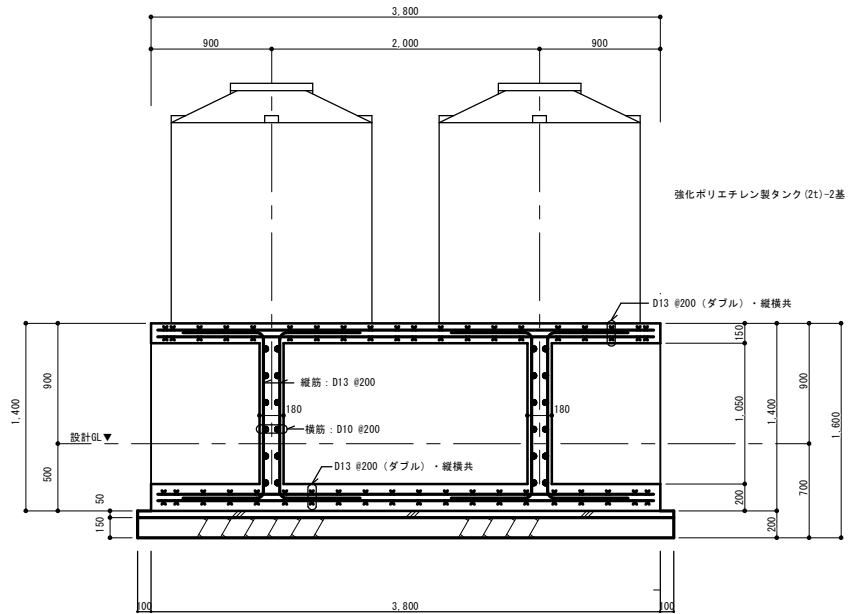
工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛舎：タンク架台-1
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/20 A3:1/40
機 要		図面番号	A— 19
設 名 称	有限会社 朝吹設計事務所	資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
計 登 録 号	1級建築士 第 114962 号	登録番号	第 133-1792 号
所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32		



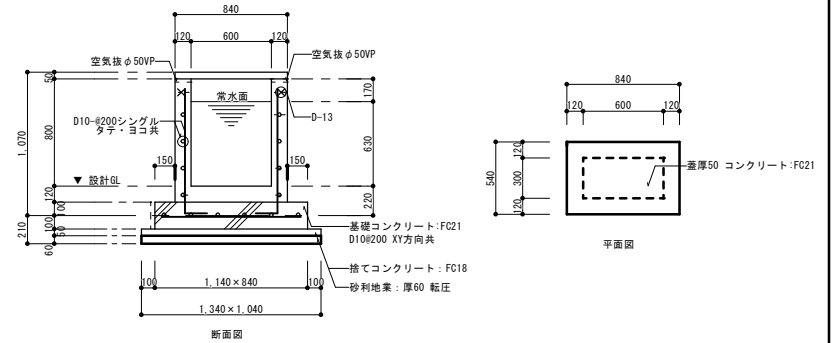
架台底部平面図



架台上部平面図



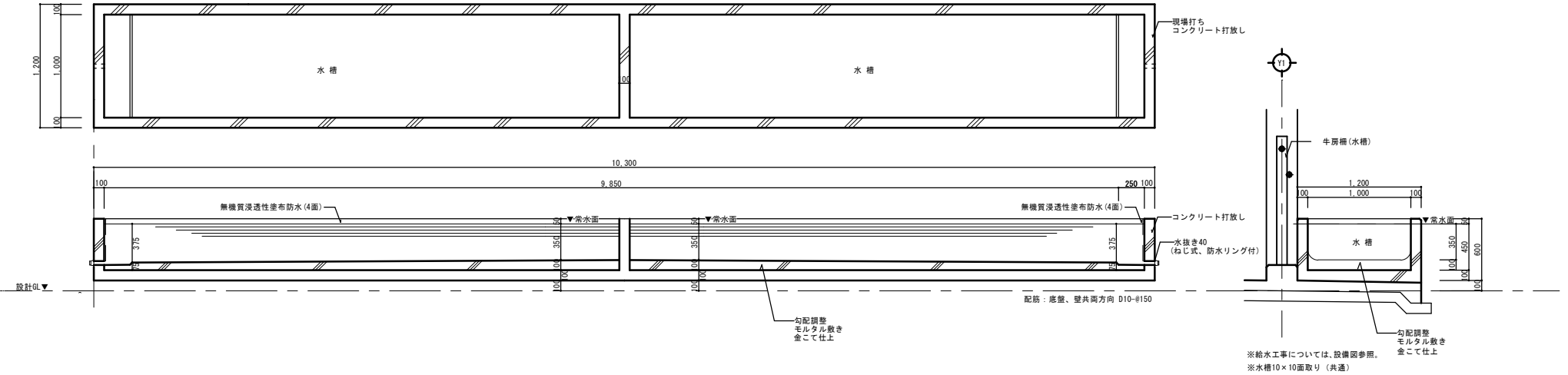
①断面詳細図



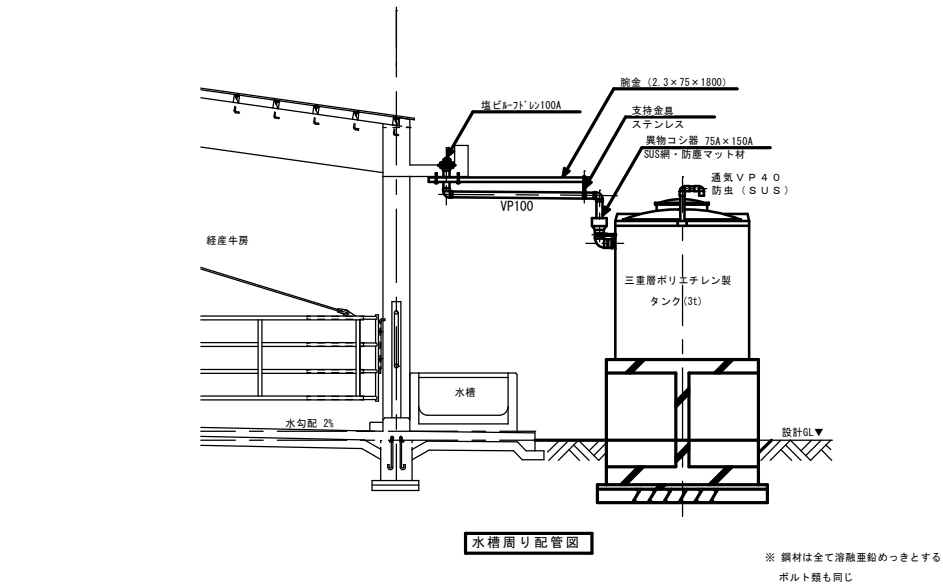
バランスタンク詳細図

伊良部 正人、大浜 雄樹、野底 賢二

工事名称	石垣北部地区建築工事（その5）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	沖縄県石垣市宇伊原間カンニン250-7	図面名称	牛舎：タンク架台-2
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	A1:1/20 A3:1/40
		図面番号	A— 20
構 要		設 名 称	有限会社 朝吹設計事務所
		資格者氏名	管理建築士 朝吹 一郎
		登録番号	1級建築士 第 114962 号
		登録番号	登録番号 第 133-1792 号
		所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2丁目3番地32



排水管のタンク架台への取り付け図 S=1/30



黄止め板取付金具詳細図 S=1/5

